令和５年度

事業報告及び法人会計決算（計算書類及び財産目録）

社会福祉法人　四万十市社会福祉協議会

目　　次

1．令和５年度　事業報告　1ページ

①令和５年度事業　報告付属明細書　33ページ

2．令和５年度計算関係書類及び事業等区分一覧表

①　〃　資金収支計算書（第１号第１様式）　34ページ

②　〃　資金収支内訳表（第１号第２様式）　35ページ

③　〃　各事業資金収支計算書（第１号第４様式）　36ページ

④　〃　事業活動計算書（第２号第１様式）　67ページ

⑤　〃　事業活動内訳表（第２号第２様式）　68ページ

⑥　〃　各事業事業活動計算書（第２号第４様式）　69ページ

⑦　〃　貸借対照表（第３号第１様式）　103ページ

⑧　〃　貸借対照表内訳表（第３号第２様式）　104ページ

⑨　〃　法人・公益事業拠点区分貸借対照表（第３号第４様式）　105ページ

⑩　〃　財務諸表に対する注記（法人会計）　106ページ

⑪　〃　財産目録（別紙４）　108ページ

⑫　〃　監査報告書　109ページ

令和５年度　事業報告（概要）

社会福祉法人　四万十市社会福祉協議会

少子化の進行と高齢社会になり、核家族化や地域の繋がりの希薄化などにより、孤立した子育て世帯や高齢者世帯・貧困世帯など、深刻な課題を抱えた世帯が増加しており、その課題解決に対応するため、国は地域共生社会の実現に向けて取組んでいます。５月に、新型コロナウイルス感染症は第５類扱いとなり、自粛生活や各種制限などが緩和され、徐々に経済活動などは回復傾向ですが、地縁や血縁といった共同体機能の弱体化など社会とのつながりが薄れた状態が続いており、地域における課題が複雑・多様化しています。

新型コロナウイルスの影響による特例貸付の償還が令和５年１月から始まっており、少額申請や償還猶予などの手続きを行ってもなお、生活が厳しい世帯が多く滞納が発生しており、困窮している世帯へのサポートが必要となっております。また、第３期四万十市地域福祉計画が４年目となり、「誰もが安心して暮らせる笑顔あふれる四万十市」を基本理念として、市内を12圏域（中学校区）に分け住民座談会を開催しました。「コロナ禍により住民の交流が少なくなった」との地域課題から、各地区では交流を目的とした輪投げ大会や住民運動会などが開催されました。

そのような中、公共性・公益性の高い民間非営利組織として、社会福祉法を遵守しながら、市民から頼られる社会福祉協議会の運営を行いました。

以下、令和５年度の各事業等の状況について重点目標に沿って報告します。

重　点　目　標

１.地域福祉の推進とボランティア活動の充実
２.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進
３.在宅福祉サービスの充実
４.法人運営と地域福祉計画の推進

1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

①生活支援コーディネーター（SC）設置業務 （地域福祉活動事業サービス区分）

《 市受託金 13,102,115円 県社協助成金 166,120円　決算額　13,268,235円 》　〈 職員２名 〉

生活支援コーディネーターは、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的として、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築や社会資源の開拓に取り組んでいます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の５類感染症移行後の地域づくりについて、いつまでも健康・元気で住みやすい地域社会を作っていくための多様な介護予防・生活支援サービスの創出や高齢者の社会参加の促進に向けて、活動が停滞していた集いへの支援や助け合いの地域づくりに焦点を当て活動をしました。

第１層推進会議では、健康福祉委員会等や生活場面での高齢化による「担い手不足」に対応するための協議を重ね「地区単位の生活支援・支え合いの地域づくり講座」を実施しました。健康づくり講座では、市民有志で構成されたザハートフルズ40010が考案の「フレッシュリズムダンシング」のDVDも配布し今後につながる講座としました。

第2層推進会議では、圏域ごとにイベントを通じた世代間交流や地域独自の助け合いの仕組み生成に向け、県社協の助成金を活用しアンケート調査や座談会を開催し、各圏域ごとの実情に応じた活動を展開することができており、地域づくりに努めています。

健康福祉委員会においては活動休止としていた地域が減少した一方、活動場所や世話人の不足により活動廃止となった地区も存在しますが、地区への声かけやつなぎによって廃止を防げた地区・他の運営に引き継げた地区もある他、新たな活動の場の立上げに向けたお試しでの健康福祉委員会を実施することもできました。

今後も、地域の課題や取り組みたい内容に寄り添った地域づくりに努めていきます。

＜主な活動内容＞

生活支援体制整備事業関係	件 数	備　　考
①ニーズや地域資源情報の把握	101 件	地域ケア会議他
②サービス・支援の担い手の養成	16 件	健康づくり講座、助け合い講座他
③推進会議（第１層・第２層）	97 件	
④関係者間との情報共有	46 件	行政・事業所他
⑤研修会の参加（研修会・出張他）	10 件	
計	270 件	

健康福祉委員会関係	件 数	備　　考
①介護予防・健康推進事業への協力	94 件	介護予防体操・学習会、道具貸出他
②健康福祉委員会の設立関係	19 件	
③意見交換会の開催・参加	25 件	
④活動の広報支援	19 件	「地域のいきいき活動」・社協だより・「天晴れ！けんふく」
⑤わなげ普及事業関係	22 件	わなげ交流大会他
計	179 件	

1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

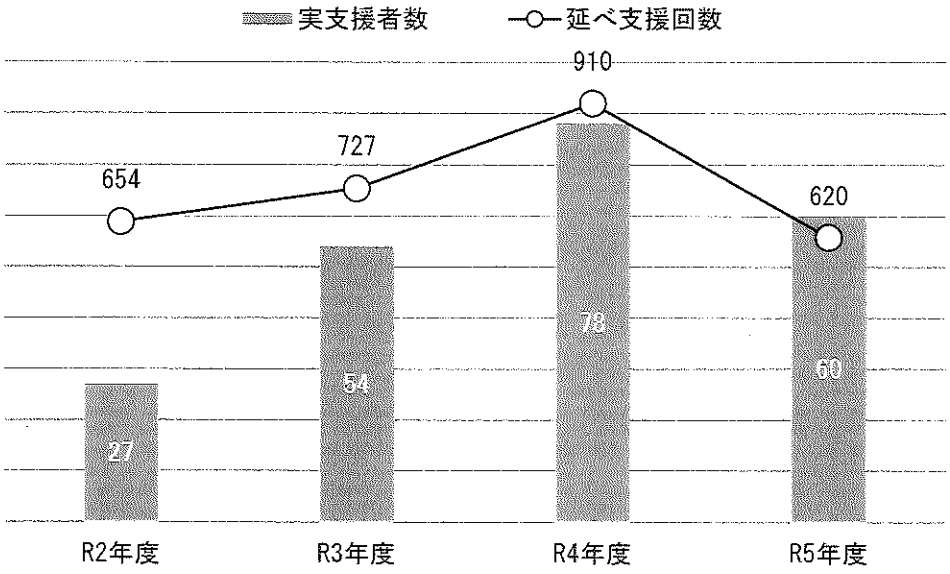
②コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置事業　（地域福祉活動事業サービス区分）

《 市受託金決算額 7,163,820円 》　〈 職員１名 〉

Ｒ２年度よりコミュニティソーシャルワーカーを１名配置し、個別支援については、ワンストップで分野を問わず相談・支援を行うことや、各分野間の相談機関で連携を密にとることにより、対象者やその世帯について、分野横断的かつ包括的な相談・支援の実現に向けて、専門職や関係機関をつなぎ、課題解決のためのネットワークづくりに努めています。

Ｒ５年度は、地域住民や関係機関から寄せられる情報をもとに60名の方に介入、延べ620件の支援を行いました。年齢層の内訳では、中年期（45～64歳）への介入数が多い傾向が見受けられます。寄せられるケースの中には、複合的な課題を抱える世帯も多く、支援がスムーズに進まず長期化する事例もあり、次年度より本格実施となる重層的支援体制整備事業に引き継いでいくことにしています。

支援実績の推移



年齢層の内訳（令和５年度）

項　目	人数	件数
子育て中の親子	1 人	3 件
青年期（15～24歳）	0 人	0 件
壮年期（25～44歳）	3 人	13 件
中年期（45～64歳）	22 人	298 件
高齢期（65～74歳）	17 人	178 件
後期高齢期（75歳以上）	17 人	128 件
不明	0 人	0 件
計	60 人	620 件

1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

③高齢者閉じこもり等予防支援業務事業　（地域福祉活動事業サービス区分）

《 市受託金決算額　6,750,118円 》　〈 職員１名 〉

本事業は、閉じこもり等何らかの支援が必要な高齢者を効果的かつ効率的な方法で早期に把握し、住民主体の介護予防活動や必要な関係機関等へつなぐことで、要介護状態に陥ることを防ぐことを目的としています。民生委員、区長、健康福祉委員会等からの情報をもとに訪問する、または行政・医療機関・事業所等から相談を受けて対応する場合などがあります。

令和５年度は、通常の対応に加えて新規転入者の困り事の把握や介護認定はあるがサービスを利用していない方のその後の状態確認を行いました。必要に応じてケース会や他機関協働を行い、課題の重症化の予防、医療や介護サービスへの円滑なつなぎ、地域とのネットワークの再構築につなげることができています。また、閉じこもり報告会にてケース検討や地域の情報共有などを行い、相談支援や対応の質の向上、連携強化に努めています。

その他には、各種ボランティア（傾聴ボランティア、認知症家族の会）の方とも同行訪問やつなぎを行い、地域住民またボランティアの方への支援も行っています。

項　目	H30年度	R1年度	項　目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
個別訪問件数	387	224	個別訪問件数	374	288	194	505
うち新規件数	77	67	うち新規件数	86	73	38	112
うち終了件数	55	73	うち終了件数	89	65	44	106
他機関への繋ぎ等件数	18	4	継続訪問者翌年度繰り越し数	1	8	3	11
事業説明・聞き取り等訪問件数	35	21	住民情報聞き取り地区数	13	30	3	97
定期閉じこもり報告会等（回）	12	12	定期閉じこもり報告会等（回）	8	9	11	10
個別ケース検討会（回）	19	5	個別ケース検討会（回）	13	14	19	64
緊急通報装置撤去作業件数		16	その他会議・研修参加	26	33	25	27

1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

④中村地域見守りサービス事業　　（共同募金事業サービス区分）

〈1日　パート１名　調理ボランティア9名　配達ボランティア15名〉

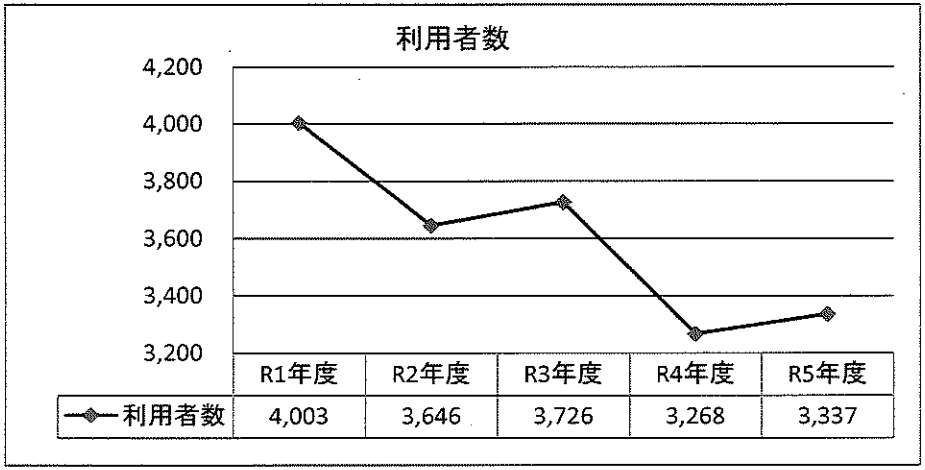
《 会費収入　230,000円　市補助金　179,376円　共同募金配分金　1,018,668円　利用者負担額　1,001,100円　決算額　2,429,144円 》

75歳以上の在宅で一人暮らしの高齢者や重度の障害者世帯に対し、毎週水曜日にボランティアの協力を得て安否確認を目的に訪問し、昼食用のお弁当を配達しています。

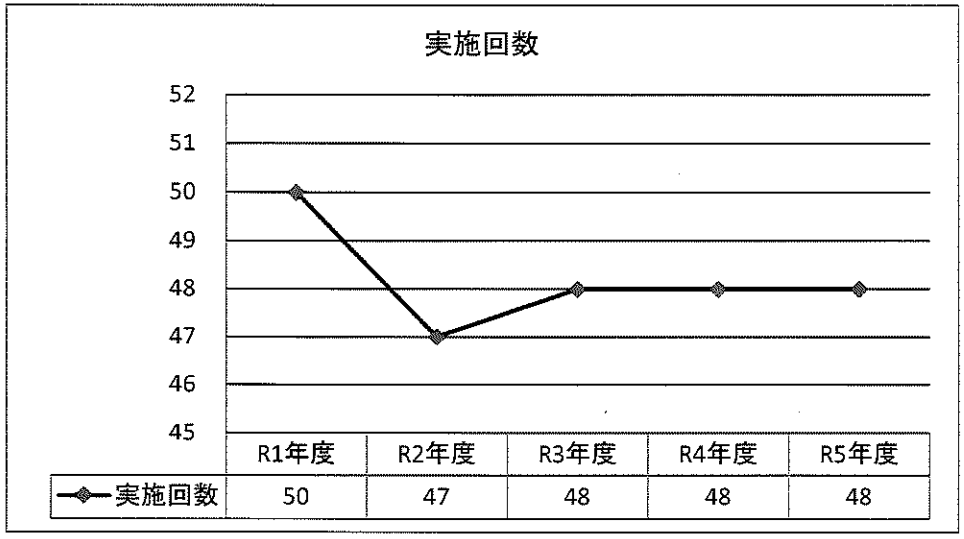
通院や入院、他の福祉サービスの利用等により、キャンセルもありますが、昨年度と比べて平均利用者数は微増しました。

配達・調理ボランティアの新規登録が少ない状況が続いておりボランティアの補充が喫緊の課題ですので、次年度も引き続き広報等にて募集を行う予定です。

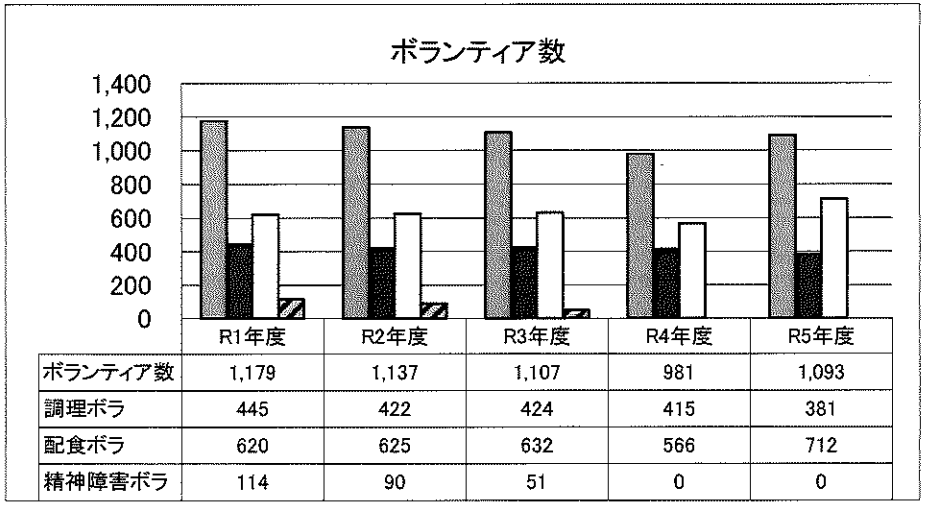
・登録ボランティア　調理　43名　配達　76名
・令和６年３月末利用者　91名
・１日の平均利用者数　69.5名（前年度　68.1名）



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者数	4,003	3,646	3,726	3,268	3,337



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実施回数	50	47	48	48	48



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
ボランティア数	1,179	1,137	1,107	981	1,093
調理ボラ	445	422	424	415	381
配食ボラ	620	625	632	566	712
精神障害ボラ	114	90	51	0	0

※令和3年度をもって精神障害者ボランティアによる配達は終了となっており、令和4年度からの実績はありません。

1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

⑤ボランティアセンター事業（ボランティア活動事業サービス区分）　《職員1名》

《 市補助金4,838,898円・会費69,000円・共同募金配分金120,000円・サービス区分間繰入金1,570,000円
・その他の収入115,947円・決算額 6,713,845円 》　《災害ボランティアセンター運営積立金　1,202,606円》

傾聴ボランティア活動は、新型コロナウイルスの影響もなく個人宅を訪問することができ、利用されている方は大変喜んでいます。併せて毎月定例会を開催しスキルアップにつなげています。さらに、傾聴ボランティア養成講座を開催しボランティアを増やすことができました。

ちょっとした困りごとに対応している有償ボランティアくらし助け愛隊については、事業開始後３年が過ぎましたが、11月に研修会を開催したものの、ボランティアが増える効果も見られず、今後は利用者、ボランティア双方に喜んでもらえるように来年度は内容の見直しを図ってまいります。

高知県社会福祉協議会主催のナツボラにまちなかサロンが参加し、高校生のボランティアを受け入れました。施設や学校からのボランティア要請には、例年通りボランティア団体等を派遣するコーディネートの役割も果たしています。

また、災害時の積立として市補助金を含めた1,200,000円を災害時のボランティア活動資金として運用できるように毎年繰り越していくこととしています。

・傾聴ボランティア　個人宅訪問実利用者数８名、訪問者延23名　　定例会12回、参加者延62名　　養成講座　６名受講
・くらし助け愛隊　マッチング件数11件　活動日数43日
・「ナツボラ」参加学生ボランティア　１名
・個人ボランティア登録者数　129名

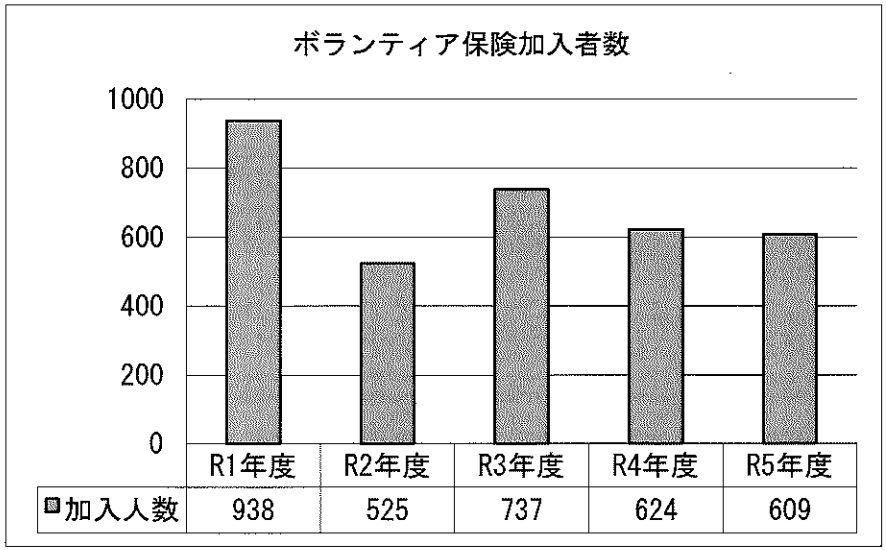
〔災害ボランティアに関すること〕

能登半島地震における災害ボランティアセンターの運営支援に、３月16日～22日まで石川県志賀町に職員を１名派遣しました。役割は、志賀町社協職員が被災者からの電話で聞き取った内容を確かめるため、被災現場を目で確かめ被災者からの直接の声を聞き一般ボランティアへつなぐための現地調査でした。

今後は運営支援の内容を広く伝え、大規模災害に備えて関係機関と連携が取れるよう進めていきます。

四万十ライオンズクラブから災害協定について要請があり、現在行政と三者協定が締結できるよう進めています。これから先、災害時だけでなく平時から多くの団体と関わることができるよう協力を求めていきます。

・四万十ライオンズクラブとの打合せ等　３回
・災害ボランティア事前登録者数　29名



※間接的に加入している人数も含んでいます。

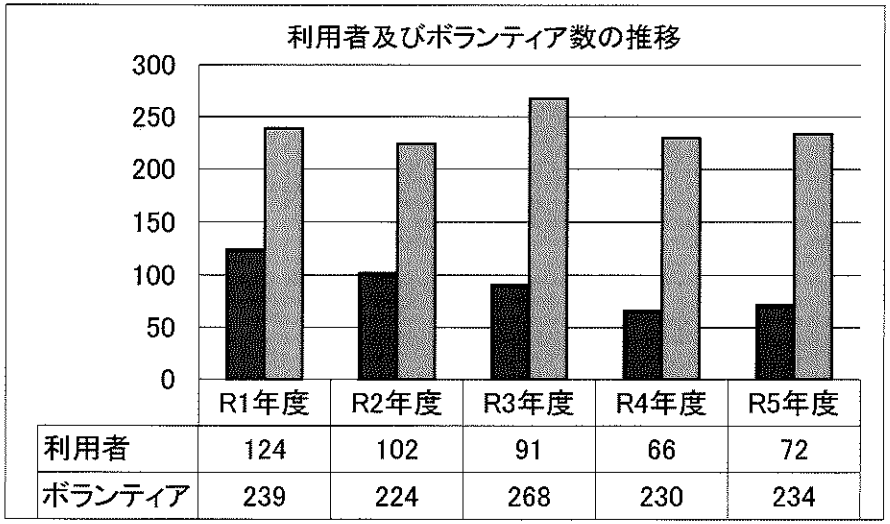
1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

⑥障害者等サービス事業（共同募金事業サービス区分）

《 会費 8,787円・共同募金配分金 20,000円・決算額 28,787円 》

朗読サービス事業

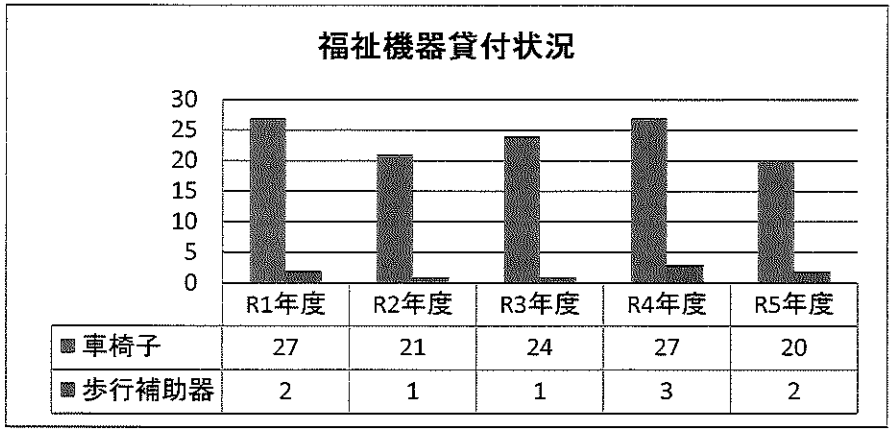
朗読ボランティアの協力により、情報不足になりがちな視覚に障害のある方等に、毎月市の広報と社協だよりをＣＤに録音して送付し、日常生活に必要な情報提供を行いました。
また、市図書館にも毎月朗読ＣＤを送付して市民への貸出も行っていますが、利用者を増やしていけるよう民生委員等に協力を呼びかけていきます。
実利用者　８名



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者	124	102	91	66	72
ボランティア	239	224	268	230	234

福祉機器貸付事業

身体機能の低下した障害者や高齢者等の生活支援の為、車椅子等を一定期間無料で貸し出し、日常生活の利便を図り、生活の質の向上と併せて介護者の負担軽減に努めました。



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
車椅子	27	21	24	27	20
歩行補助器	2	1	1	3	2

1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

⑦福祉教育の推進（共同募金事業サービス区分）　《職員兼務2名》

市内小・中学校の児童生徒や企業等に、ひとりひとりが幸せに生き、ともによりよく暮らすため、地域のさまざまなひと・もの・こととのつながりを通し、自ら気づき、考え、行動できる力を育てることを目的として福祉教育を実施することができました。

今年度はガイドブックに記載のあるプログラム内容の他に「少子高齢化について学習を深めたい」との依頼に応じ、健康福祉委員会やグラウンドゴルフ団体、地域住民とのつなぎを通した学びを年間を通じて提供することができたほか、近年依頼のなかった学校からも依頼を受けることができました。

また、看護専門学校の学習した看護の知識・技術・態度等を実践へ適用する能力を育成することを目的とした臨地実習や、大学で社会福祉士を目指す学生を受け入れて、社会福祉協議会の役割や地域福祉についての教育の場ともしています。

引き続き、地域の団体や個人に協力を依頼しながら、広く地域の皆さんへ福祉教育による体験を通して、地域福祉の推進につながる働きかけができるよう努めていきます。

学校名等	体験学習等				
	実施日	内　容	学年	人数	備　考
中村中学校	R5.5.11	高齢者疑似体験	2	120名	延4時間授業
中筋小学校	R5.6.6	手話学習	全学年	33名	
	R6.1.10	ボッチャ	1・2・3	18名	
四万十看護学院	R5.7.6	高齢者疑似体験	2	36名	
	R5.8.4	地域・在宅看護論	2	5名	延2日間
具同小学校	R5.9.7	少子高齢化について	6	63名	
	R6.1.11	座談会/認知症について	6	10名	
	R6.2.8	具同GGクラブとの交流	6	3名	
高知県立大学	R5.8.14	社会福祉士実習	3	1名	延24日間
	R5.8.28	社協見学訪問	1	1名	
利岡小学校	R5.9.11	バリアフリー、ユニバーサルデザイン	3・4	6名	延2日間
東中筋小学校	R5.9.29	障害者スポーツ	3・4	11名	
東山小学校	R5.11.20	手話学習	2	54名	
幡多看護専門学校	R5.12.21	成人･老年看護学実習Ⅰ	2	6名	延2日間
	R6.2.8	成人･老年看護学実習Ⅰ	2	6名	延2日間
西土佐小学校	R6.1.18	高齢者疑似体験・車いす体験	1・2	21名	
中村小学校	R5.1.21	高齢者疑似体験・車いす体験	3	36名	
	R6.1.25	少子高齢化について	6	7名	
蕨岡小学校	R6.1.20	視覚障害について	3・4	7名	
八束小学校	R6.2.8	車いす体験	3・4	8名	
幡多年金事務所	R5.10.18	身体、知的障害 認知症について		10名	
	R6.2.22	視覚障害について		7名	
合　計				340名	

1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

⑧ゆずります・ゆずってください事業（共同募金事業サービス区分）　《職員兼務1名》

家庭などで眠っている貴重な資源について新たな活躍の場が見つかるように「情報の収集とその情報の公開」を社協だよりで行いました。「ゆずります登録カード」、「ゆずってください登録カード」に書いてもらった情報が一致した時に双方へ再確認したうえで物品を届けました。

物品によっては登録カードが増えるなど市民へ浸透し、物品を届けた際には非常に喜んで受け取ってくれるなど需要もありましたが、提供できなかった物品が多く、また提供先が限られた方になっているなどの課題もあり今年度で事業終了となりました。

●ゆずります登録カード受取数　37枚
●ゆずってください登録カード受取数　50枚

番号	物品名	配達地区名	番号	物品名	配達地区名
1	ロックミシン	中村	22	小動物用ケージ（うさぎ等）	具同
2	エレクトーン	具同	23	中村高校セーラー服（夏冬用）	具同
3	EPSONインクカートリッジ	下田	24	ジュニアシート	中村
4	ネコ（一輪車）	中村	25	かき氷機	後川
5	Canon純正品　プリンターインク	具同	26	ベビーベッド	中村
6	Canon純正品　プリンターインク	具同	27	敷ふとんカバー	中村
7	年少者用　ジュニアシート	中村	28	一輪車	中村
8	大方高校 制服	中村	29	客用座布団	中村
9	中村中学校制服（カッターシャツ）	中村	30	敷ふとんカバー	具同
10	猫用ゲージ（２～３段）	西土佐	31	ジュニアシート	中村
11	猫用ゲージ（２～３段）	西土佐	32	インコおもちゃ	東山
12	キルトヤッケ	具同	33	客用座布団	具同
13	子犬のエサ	中村	34	客用座布団	西土佐
14	五月人形（兜飾り	中村	35	折りたたみベビーカー	西土佐
15	ポータブルDVDプレイヤー	中村	36	クリスマスツリー	後川
16	ジュニアシート（背もたれ有）	中村	37	小型犬用キャリーケース	中村
17	ﾌﾟﾘﾝﾀｰｲﾝｸ　EPSON用	中村	38	エリス　新・素肌感	中村
18	ジュニアシート（女児用）	中村	39	Canon ﾌﾟﾘﾝﾀｰｲﾝｸ	中村
19	子どものための世界文学森	具同	40	作業着ズボン	中村
20	折りたたみベッド	中村	41	中村中学校女子制服	中村
21	介護用ベッド	具同			

1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

⑨地域福祉の推進（法人運営サービス区分他）

○福祉健康講座は、昨年度に引き続き映画上映会を西土佐ふれあいホールで開催しました。今回も「認知症」をテーマに68名の参加がありました。

○健康福祉地域推進事業では、33地区の委員会からの依頼を受け、介護予防のレクリエーションやゲーム、「介護保険」の講話等の学習会に協力しました。

○ボランティアセンターとしての取り組みは、西土佐小学校からの依頼を受け読み聞かせを５月より行いました。

○ふれあい相談については、前年度に引き続き金銭に関わる相談内容が多くありました。

○フードバンク事業は、寄付で協力してくれる方や利用される方の割合が前年度より低くなっています。

○生活福祉資金の申請はありません。また、６月よりはじまった特例貸付免除申請については、３名の方の申請がありました。

○小口生活資金の貸付件数は２件あり、生活保護受給決定までのつなぎ資金となっています。

＊社協会費

（新設）	自治会会員	6地区	40,300円
団体会費		2団体	10,000円

・ボランティア団体支援

やすらぎの会、ＪＡこだま会

事業名	内容				
	内　容	場　所	回数	延べ人数	備　考
福祉健康講座	福祉映画上映会	西土佐ふれあいホール	1日 2回	68名	10/26開催
健康福祉地域推進事業他に協力	介護予防事業に協力	各地域の集会所他	6回	78名	3地区、 老人クラブ2単老
ボランティアセンター機能	話し相手	デイサービスセンター	−	−	読み聞かせボランティアのみ5月より実施
	繕いもの	特養かわせみ	−	−	
	カラオケ	ケアハウス	−	−	
	読み聞かせ	西土佐小学校	17回	82名	
合　計			−	−	

事業名	内容		件数	備　考
高齢者閉じこもり等予防支援	関係機関との情報交換及び対象者宅訪問		0件	
ふれあい相談	電話や来所による相談		13件	
訪問相談・支援	相談業務等に関連し訪問		44件	
フードバンク事業	受入れ		4件	
	利用者		1名	
生活福祉資金貸付	問合せ・相談等		117件	主に償還に関すること
	福祉資金の貸付		0件	本会小口のみ
新型コロナ特例貸付（免除）	緊急小口資金	申請件数	−	R3.9月末終了
		申請金額	−	〃
	総合支援資金	申請件数	−	〃
		申請金額	−	〃
	緊急小口資金償還	免除申請	1件	
		免除金額	450,000円	
	総合支援資金償還	初回免除申請	2件	
		初回免除申請金額	1,200,000円	
女性活躍支援事業	相談等（生理用品）		0件	
小口生活資金貸付	生活資金の貸付（特別小口含）		2件	
日常生活自立支援事業	相談・支援		1件	
	利用者		0名	
成年後見事業	相談・支援		37日	
	利用者		1名	
車イス貸出	短期使用者に貸出		14件	

1.地域福祉の推進とボランティア活動の充実

⑩法人運営（法人運営サービス区分）

西土佐支所にて実施した各団体事務と、関係機関との会議等の状況は以下のとおりです。

【団体事務】

西土佐地域老人クラブ連絡協議会(四万十市老人クラブ連合会)

監査(4/4)、会長会(4/21, 1/11, 3/7)、ｹﾞｰﾄﾎﾞｰﾙ大会(4/17, 5/4, 6/28, 10/5, 12/14, 3/21)、秋季ゲートボール大会5/18（教育委員会）

自主研修学習会（12/7）

《市老連》会長・副会長会(4/6, 5/11, 7/13, 9/7, 11/2, 1/11, 3/7)、理事会(4/14)、定期総会(4/28)、若手・女性委員合同総会(9/11, 3/26)

ふれあい体操(4/17, 5/15, 6/19, 7/24, 8/21, 9/25, 10/16, 11/11, 12/18, 1/15, 2/19, 3/18)、日帰り研修旅行（7/5, 6）、絵手紙教室（8/29, 3/1）

若手・女性委員日帰り研修（6/26）体力測定(8/2)、輪投げ大会（9/12）、ぼっちゃ練習会（10/18）

グラウンドゴルフ大会(6/28, 3/21）、ゲートボール大会(11/16)、ろうれんピック（10/27）、日帰り旅行（11/17）

幡多地区芸能大会（11/29）、若手女性委員会研修（2/20）、料理研修（1/31, 2/15）

西土佐地区民生委員児童委員協議会

監査（4/6)、定例会(4/13, 7/13, 8/24, 10/12, 12/14, 3/7)、訪問サービス（7/13, 10/12, 3/7）、県民児連総会（4/24）、中学校訪問（5/19）

県民生委員大会（6/16）、幡多ブロック研修会（6/27）、全国大会（11/20～22）、中堅研修(10/27)、就学前児童保護者との顔合せ（11/29）

新任(3年目)研修(8/25）、新任(1年目)研修（2/7)、主任児童委員大会（2/29）

中堅フォローアップ研修（11/13）、法定民児協会長・副会長等研修会(2/15)、幡多ブロック連絡会（3/11）

四万十市身体障害者連盟総会（5/13）、身障連幡多地区スポーツ大会（10/13）

日本赤十字社　　災害等無く、活動無し

共同募金委員会　　街頭募金(10/1, 2)、特別募金(10/31)、学校募金(小12/22)

【関係機関との会議等】

こだま会総会（4/27）、社会を明るくする運動出発式(7/3)、西土佐地域ネットワーク会議（5/31. 9/21）

地域福祉ネットワーク会in西土佐（7/14）、青少年健全育成会会議西土佐部会監査・総会・役員会(4/27. 5/17. 6/21)

健康づくりサポーター養成講座（11/11)健康福祉委員会意見交換会（5/23. 24）、青少年健全育成会議運営委員会（6/28）

西土佐地域座談会（12/13. 1/18）、味噌づくり（8/21. 23）、駅伝大会・味噌おひろめ会（2/4）、いちいの郷運営推進協議会（9/21, 2/29）

2.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

①ふれあい相談センター事業（共同募金事業サービス区分）

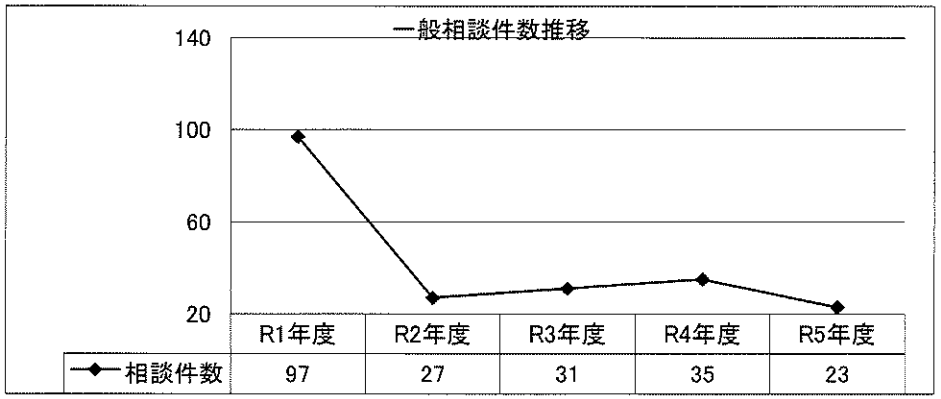
《 会費収入 134,000円　共同募金配分金 250,000円　決算額 384,000円 》

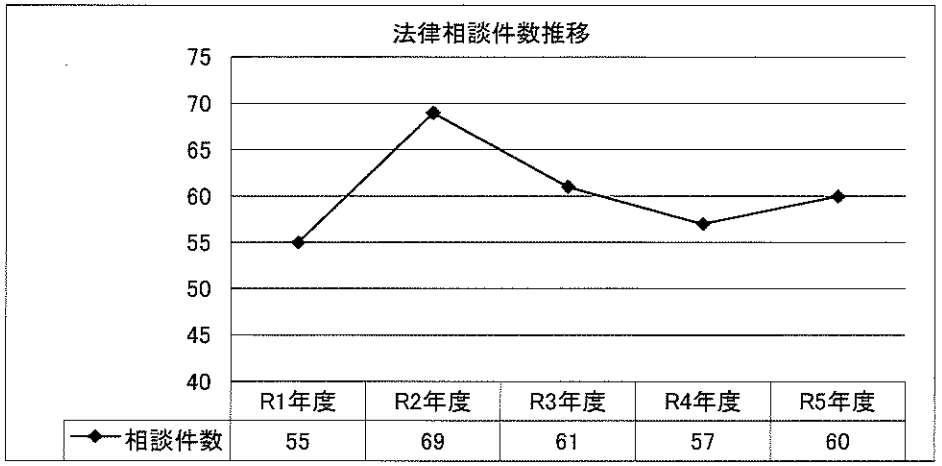
一般相談	毎週　月～金曜日	午前８時30分～午後５時15分	（四万十市社会福祉センター　本所）
法律相談	月/2回　第１・３月曜日	午後１時30分～午後３時30分	（四万十市社会福祉センター　本所）
支所相談	毎週　月～金曜日	午前８時30分～午後５時15分	（四万十市総合福祉センター　支所）

一般相談については、対応職員を決めず来所や電話の相談を基本として、必要に応じて訪問による対応で実施していますが、数字だけ見るとここ数年は非常に少なくなっています。コミュニティーソーシャルワーカーが窓口となって多くの相談を受けていることなど要因は様々ですが、係を超えた相談があり事務所対応は少なくなりました。なお、法律相談については１回につき上限４名として毎月２回実施していますが、相談者が多く今後も実施していきます。

R1年度			R2年度			R3年度		
1	家計・金銭問題	43	1	家計・金銭問題	7	1	生活問題	11
2	生活問題	22	2	家族関係・離婚・結婚問題	5	2	家計・金銭問題	9
3	家族関係・離婚・結婚問題	12	3	職業・仕事問題	4	3	介護保険・高齢者福祉問題	5

R4年度			R5年度		
1	家計・金銭問題	11	1	障害者問題	13
2	生活問題	5	2	家計・金銭問題	5
3	年金・財産問題	4	3	生活問題	4





※1　一般相談については、職員が対応

※2　法律相談については、弁護士が対応

中村ひまわり基金法律事務所・法テラス中村法律事務所・四万十法律事務所の弁護士が輪番対応

2.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

②福祉サービス利用援助事業　（福祉サービス利用援助事業サービス区分）

〈職員２名（内支所１名）〉

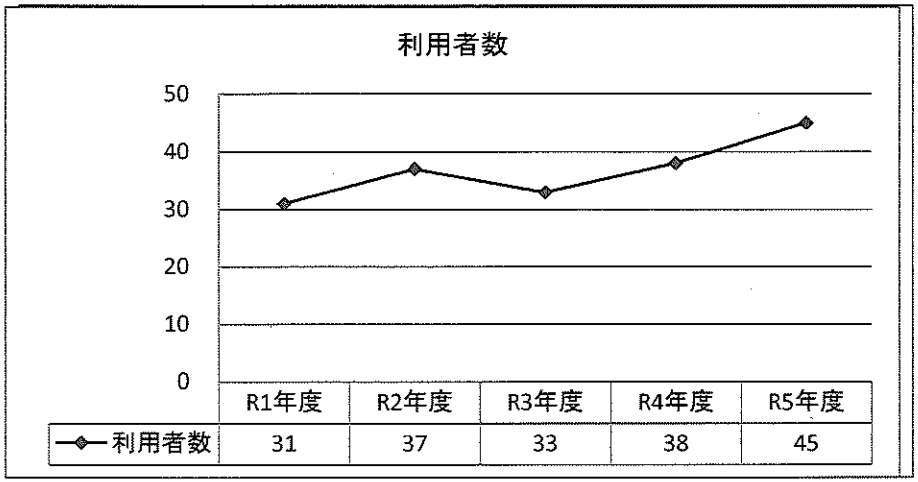
《 県社協受託金 3,385,000円　利用料 290,250円　後見報酬 1,957,300円　市補助金 1,272,000円　その他の収入75,990円　決算額 6,980,540円 》

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な方に対し、福祉サービス利用援助に合わせて日常的な金銭管理を行い、地域で自立し、安定した生活が送れるように利用者の支援を行いました。

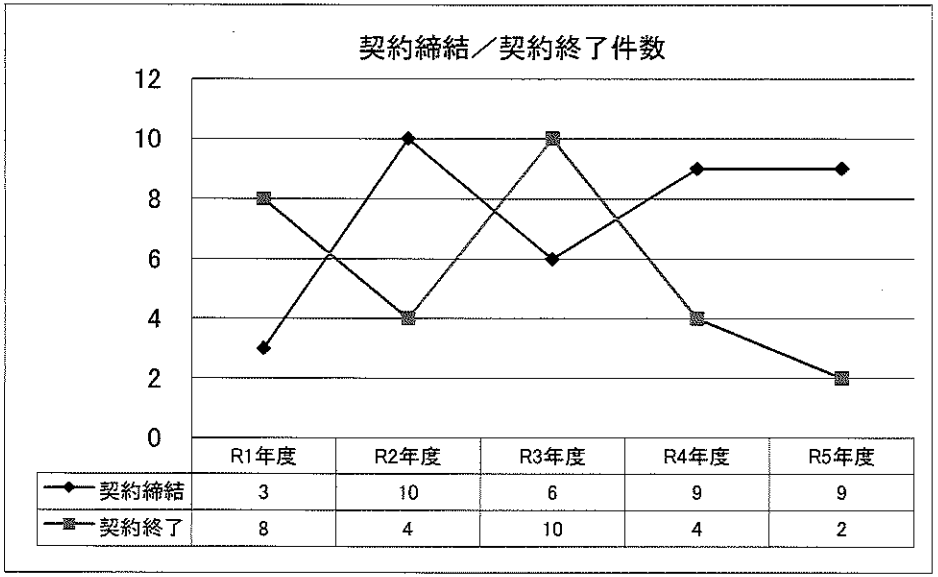
Ｒ５年度の新規契約者の内訳は、認知症高齢者３名、知的障害者３名、精神障害者３名でした。また、契約終了者については、死亡１名、後見人への移行が１名でした。

死亡１名の預かり物品に関しては、相続人不明なため県社協へ預け替えしました。

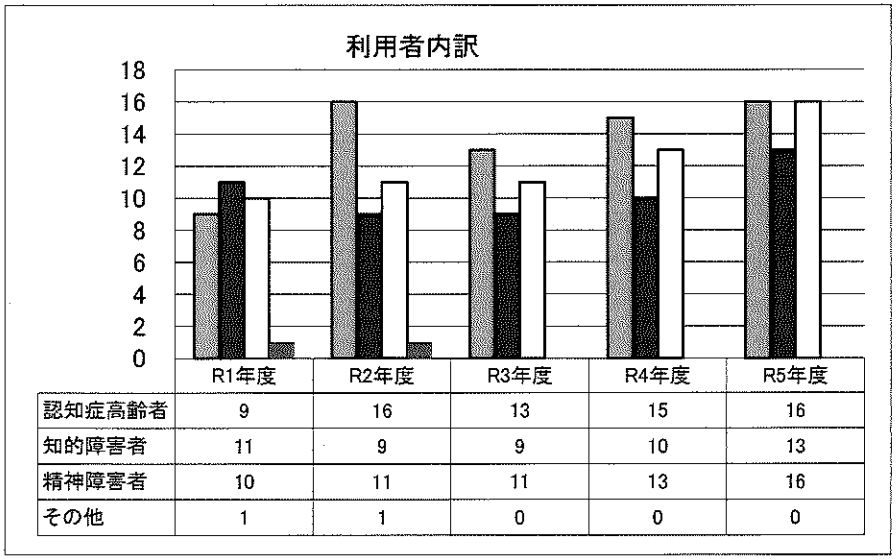
- 相談支援件数他　2,250件
- 新規契約件数　9名
- 契約終了者数　2名
- 年度末利用者数　45名（内書類預りのみ利用者4名）



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者数	31	37	33	38	45



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
契約締結	3	10	6	9	9
契約終了	8	4	10	4	2



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
認知症高齢者	9	16	13	15	16
知的障害者	11	9	9	10	13
精神障害者	10	11	11	13	16
その他	1	1	0	0	0

2.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

③法人後見事業（福祉サービス利用援助事業サービス区分）

《後見報酬収入 1,946,300円》（福祉サービス利用援助事業再掲）

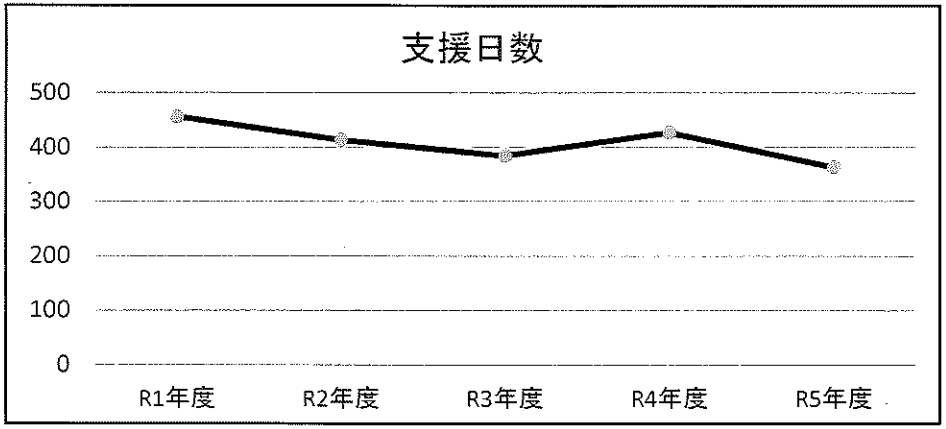
〈職員５名兼務〉

認知症・知的障害・精神障害等、意思決定が困難な人の判断能力を補うため、成年後見人、保佐人又は補助人になることにより、その人の財産管理や身上監護を行い、その人の権利を擁護することを目的に支援を行っています。

令和５年度は家庭裁判所より就任依頼書が１件、打診が２件ありましたが、業務の都合上兼務不可となった職員がおり、受任件数を調整しなければならない状況のため、新規受任はしていません。

・新規受任者数　０名
・契約終了者数　１名（99歳 女性 認知症高齢者）
・年度末受任者数　９名

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
問合せ件数	5	15	12	5	7
支援日数	457	414	385	428	364
新規契約者数	1	2	2	1	0
契約終了者数	1	1	2	1	1
年度末受任者数	9	10	10	10	9



未来のあんしんサポート事業

（福祉サービス利用援助事業サービス区分）

〈職員５名兼務〉

近くに頼れる親族のいない高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活を送れるようサポートすることを目的とした事業です。日頃の見守りや入院・入所時の支援、亡くなった後の手続きなど、老後に抱える様々な不安に寄り添う事業となります。

令和５年度は契約が1件、申請が1件ありました。契約者への支援として、月２回の電話と偶数月の訪問を通して安否確認を実施しています。来年度も、制度説明や継続的な支援を通して市民の安心できる生活のサポートに努めていきます。

また、11月と２月には、県下７市町社協やNPOから研修依頼があり、本会の取組みを説明し意見交換等を行いました。

	R4年度	R5年度
相談件数	19	14
実相談者数	5	4
申請者数	1	1
審査会件数	0	2
契約締結者数	0	1
契約終了者数	0	0
実利用者数	0	1
支援回数	0	26

2.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

④小口生活資金貸付事業（貸付事業サービス区分）

低所得者等に対し、短期の生活資金貸付と相談援助を行うことにより、生活の安定を図ることができるように努めました。
令和元年度に小口生活資金貸付事業の要綱を一部改正した以降は、生活保護世帯からの申込みが大幅に増加しており、福祉事務所と連携して対応しました。

※　資産の状況（令和６年３月31日）
・預金残高　3,957,823円

※令和５年度　相談者数　38名

※　小口貸付等の状況
・相談件数　138件
・貸付額　989,000円(25件)
・貸付残額　233,657円(延利含む)
・償還終了件数　21件

※　特別小口貸付等の状況
・相談件数　0件
・貸付額　0円（0件）
・貸付残額　0円
・償還終了件数　0件

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	前年度比 R5年-R4年
貸付件数	9	33	30	33	25	-8
貸付額	306,000	1,776,000	1,331,000	1,508,000	989,000	-519,000

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	前年度比 R5年-R4年
償還完了件数	8	24	22	29	32	3
償還額	362,575	1,421,950	1,433,170	1,203,000	1,475,000	272,000
内延滞利子	130	0	0	0	6,086	6,086

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	前年度比 R5年-R4年
年度末貸付件数	3	13	21	16	9	-7
貸付残額（元金）①	145,000	479,150	376,980	533,880	231,000	-302,880
延滞利子　②	0	0	0	5,884	2,657	-3,227
年度末残額　①+②	145,000	479,150	376,980	539,764	233,657	-306,107

生活福祉資金貸付事業(貸付事業サービス区分)

《 県社協受託金 13,137,444円　うち特例貸付事務費 12,320,444円 》

低所得者等に対して、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより経済的自立、生活意欲の助長促進並びに社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようにすることを目的としています。

【令和５年度貸付等の状況】※支所含む
＊問合せ・相談件数　79件
＊申請件数　5件
＊貸付件数　1件（合計683,000円）
（内訳）
教育支援資金　1件　（683,000円）

新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金（特例貸付）

特例貸付は令和４年９月30日で終了しており、条件はありますが各種の免除申請を受け付けています。貸付の種類によって償還が開始されていますが、返済が難しい方からの相談に応じて少額申請や猶予申請の手続きをしていますが、滞納をしている方が多く、中には１度も返済がない方、連絡が取れない方など様々な事情があり後追いに苦労しています。今後も高知県社協と連絡を取りながら訪問などを続けて生活状況を確認していきます。

【特例貸付】（支所含む）
＊申請者数（延べ）
緊急小口資金　478名（87,400,000円）
総合支援資金　829名（437,800,000円）
合　計　1,307名（525,200,000円）実人数　481名

免除申請（四万十市受付分）
【免除申請実人数/金額】254名(生保7名)/ 202,364,680円38.5%
【免除申請額】（緊急小口）40,750,000円(生保 6名)
（総合初回）96,200,000円(生保 4名)
（総合延長）51,000,000円(生保 2名)
R4.4以降受付分（緊急小口）2,050,000円
（総合初回）5,250,000円
次年度以降非課税免除
（緊急小口）1,275,930円
（総合初回）5,838,750円

2.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

⑤フードバンク事業（貸付事業サービス区分）

フードバンク事業では、生活に困窮し日々食の確保に困る人たちを対象に、住民からの寄付や関係機関から寄せられる食料品を無償で提供しており、市内の社会福祉法人や福祉事務所でも食料品の受け入れ窓口として協力をいただいています。

地域住民から寄せられる生活困窮者等の相談について、当事業と合わせて必要な場合は他の社協事業や生活困窮者自立支援事業所、また福祉事務所と連携し潜在化しがちな生活困窮者のニーズへ早期に対応できる体制を取っています。

また、㈱フジ・リテイリング様が２店舗において、買い物をしたお客さんがそのまま寄付できるフードドライブコーナーを設け、定期的に物品を寄付してくださり、多くの善意が生活困窮者等への食材として届きました。

フードバンク事業の拡充としましては、野菜や果物、米などを生活困窮者に提供する「おもいやり市」を令和５年12月より開始し、461kgのご寄付をいただき、福祉資金相談者や事業所利用者等に提供することができました。

フードバンク寄付　実績数

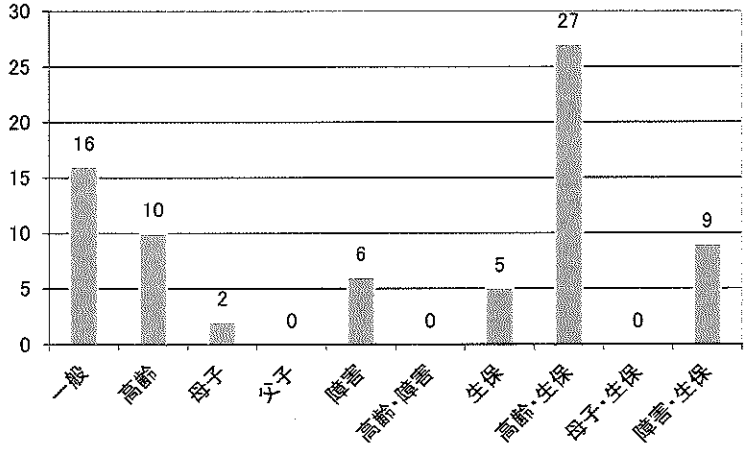
	R1年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
受付先	延べ件数	重量換算	延べ件数	重量換算	延べ件数	重量換算	延べ件数	重量換算	延べ件数	重量換算
社協	36件	696.30 kg	71件	521.15 kg	64件	739.50 kg	64件	1,181.20 kg	27件	335.60 kg
四社連			18件	141.00 kg	11件	776.40 kg	6件	157.00 kg	3件	125.00 kg
FDキャンペーン	9件	108.80 kg	29件	209.80 kg	23件	639.10 kg	12件	354.50 kg	12件	308.60 kg
フジ									73件	258.40 kg
合　計	**45件**	**805.10 kg**	**118件**	**871.95 kg**	**98件**	**2,155.00 kg**	**82件**	**1,692.70 kg**	**115件**	**1,027.60 kg**

フードバンク提供　実績数

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
個人	81件	77件	87件	111件	75件
施設	件	件	13件	4件	8件
計（延べ）	**81件**	**77件**	**100件**	**115件**	**83件**

【フードバンク提供（世帯別）】

世帯	件数		
一般（困窮）	16件	生保	5件
高齢	10件	高齢・生保	27件
母子	2件	母子・生保	件
父子	件	障害・生保	9件
障害	6件	（生保）計	41件
ホームレス	件	延べ件数	75件
高齢・障害	件		



2.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

⑥福祉人材バンク事業（福祉人材バンク事業サービス区分）　〈契約１名兼務〉

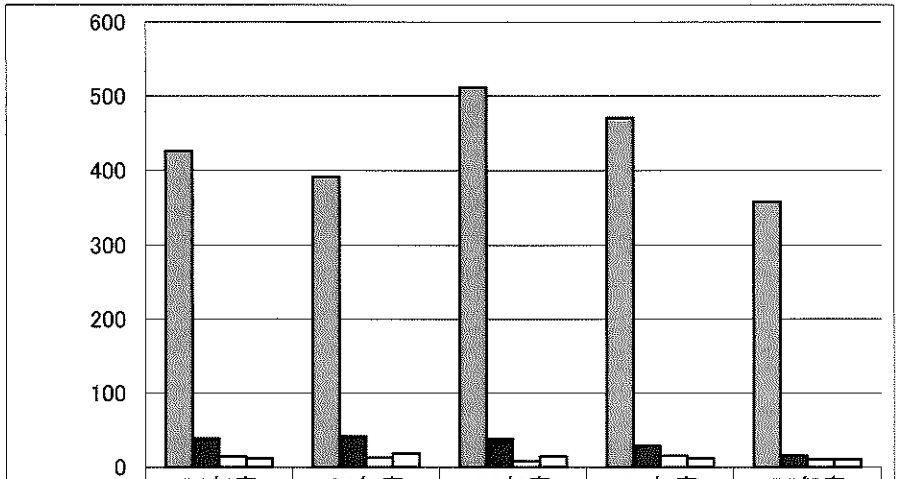
《 県社協受託金 1,619,545円　その他の事業収入 16,285円　決算額 1,635,830円 》

無料職業紹介事業では幡多６市町村と四万十町を管轄区域として、求職登録者が希望する求人に応じて福祉・介護の職場へとつなぎました。平日は常時窓口での相談を行い、広報誌での周知、関係機関との連携により登録者の確保と求人情報の提供を行いました。また、ハローワーク主催のかいご面接・相談会や、高知県福祉人材センター主催のふくし就職フェアへの応援も行い、その中で四万十市内への施設見学、面接へと繋げることができました。

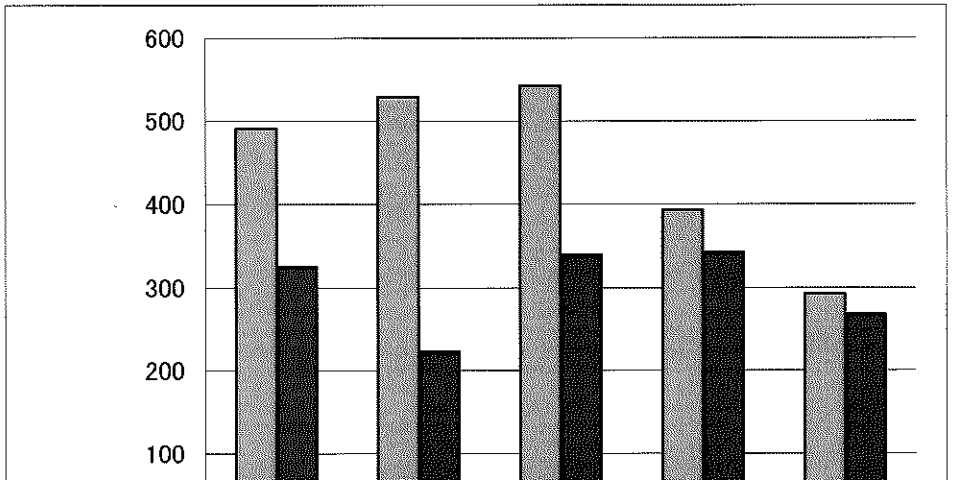
福祉人材養成事業としては、介護支援専門員模擬試験や、介護福祉士模擬試験・受験対策講座を開催しました。また窓口相談等で資格取得方法や講習先情報等の提供も行いました。

福祉の人材確保は常態化しており、福祉・介護の新規求職登録者の確保と、潜在有資格者の掘り起こしに取り組み、併せて高知県福祉人材センターと連携し、様々な角度から介護職の魅力のＰＲを行っていきます。

【福祉人材養成事業】介護支援専門員模擬試験…受験者16名、介護福祉士模擬試験…受験者12名、受験対策講座…参加者９名
【啓発広報事業】社協だより掲載…５回　　量販店でのティッシュとチラシ配布…計10回（月１回）
【運営委員会開催】令和６年３月15日　運営委員６名参加



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
求人数	426	391	512	471	358
求職者数	39	42	39	29	16
紹介数	15	13	8	16	11
就職数	12	19	15	12	11



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
相談件数	491	529	543	393	293
情報提供件数	326	223	340	343	268

2.総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

⑦福祉・介護人材マッチング機能強化事業（福祉人材バンク事業サービス区分）　〈職員兼務１名・契約1名〉

《 県社協受託金 3,494,000円　市補助金 2,174,813円　その他の収入 621,000円　県受託金 1,857,371円　決算額 8,147,184円 》

幡多福祉人材バンクにおけるマッチング機能の強化及び施設・事業所における職員の定着促進を目的として、対象者に応じた細やかなマッチングの実施や就職後のフォローアップ、働きやすい職場づくりへの支援等を行ってきましたが、新型コロナウイルスの影響で思うような事業所訪問ができませんでした。

ハローワークを会場に福祉・介護セミナーについて開催していますが、参加者数は増加したものの就職に結びつくことがなく人材確保が非常に難しい状況が続いていますが、セミナー後に職場体験を２名の方が希望され実施することができました。

福祉・介護分野の人材不足が常態化している中、人材確保について検討していくため四万十市社会福祉法人連絡会を母体として小規模法人ネットワーク化構築事業を昨年度より実施していますが、今年度につきましては共同送迎サービスの検討について９施設に協力いただき調査しました。結果としては、どの施設も送迎に関して負担を感じている状況でしたが、導入を希望する施設が少なく実施には繋がりませんでしたが、調査を通して人材確保・定着に向けての課題を再度整理することができました。

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
延事業所訪問件数(件)	23	7	33	24	36
福祉・介護セミナー開催(回)	10	7	12	11	10
延参加者(人)	52	14	47	57	58
延福祉職場体験者(人)	5	4	0	0	2

【小規模法人ネットワーク化構築事業】

・共同送迎サービス「ゴイッショ」説明会　６月28日　参加者45名
・事業所アンケート調査依頼　７月25日～27日　10施設訪問（ダイハツ工業同行）
・実施事業所への調査報告　11月８日～10日　８施設訪問（ダイハツ工業）
・福祉職場の人材確保セミナー　　12月８日　参加者17名

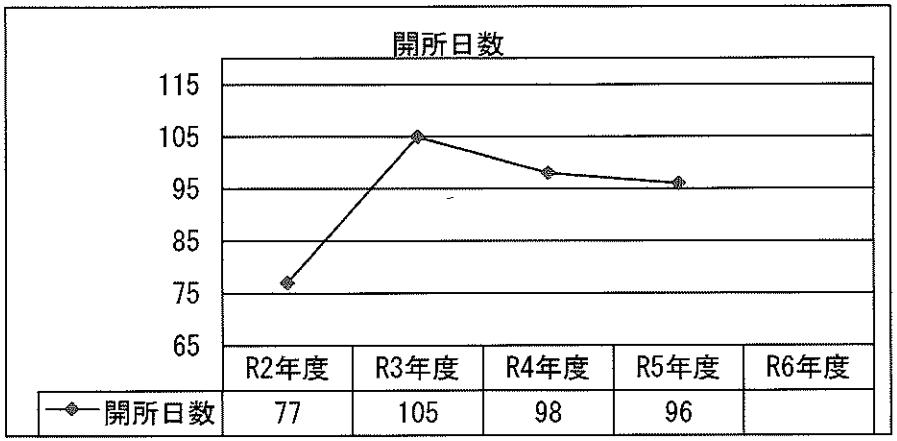
3.在宅福祉サービスの充実

②通所型サービスＣ事業　（はつらつデイサービス事業サービス区分）　〈他業務と兼務　職員２名　再雇用１名〉

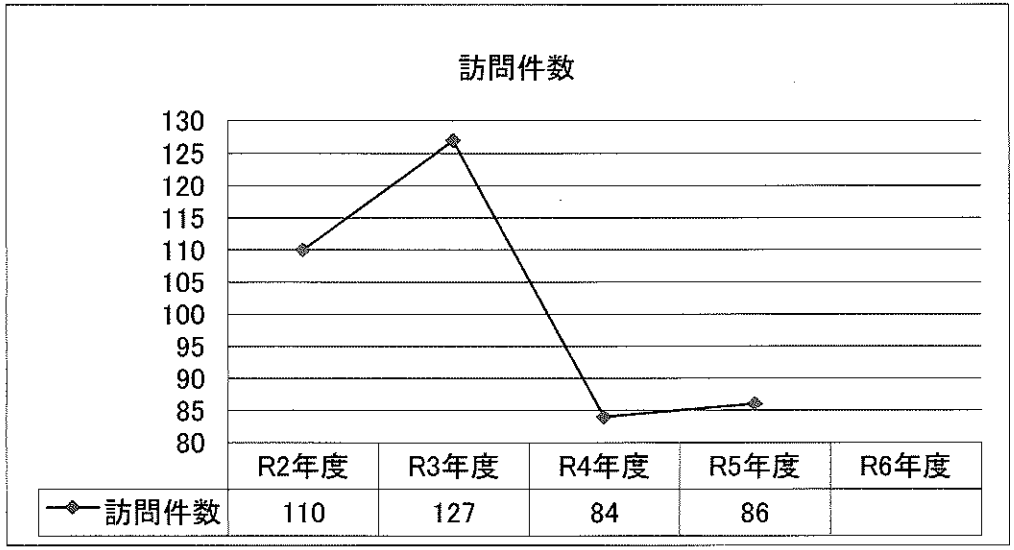
《 市受託金　6,856,092円　　利用料132,600 円　決算額　6,988,692円 》

フレイル状態にある方に対し、住み慣れた地域で自立した生活を続けていけるよう、生活機能の維持、向上心を目指し通所による運動機能向上のプログラムの実施や訪問を３ヶ月間集中的に行ってきました。
　卒業後も生活、運動機能の維持、向上の為のセルフマネジメントができるようモニタリングも実施し、多数の利用者に活動量の改善等の変化が確認されており、一定の成果がみられています。

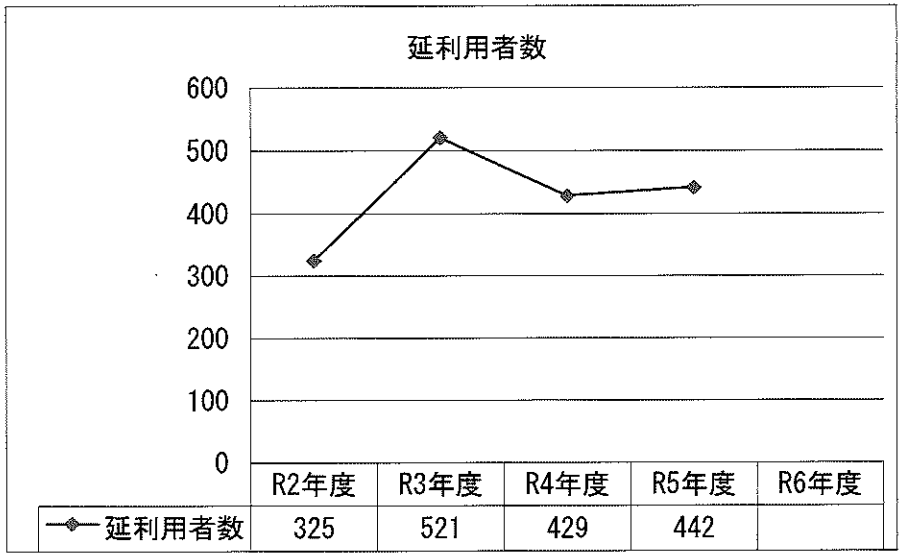
・利用者実数　16名



	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
開所日数	77	105	98	96	



	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
訪問件数	110	127	84	86	



	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
延利用者数	325	521	429	442	

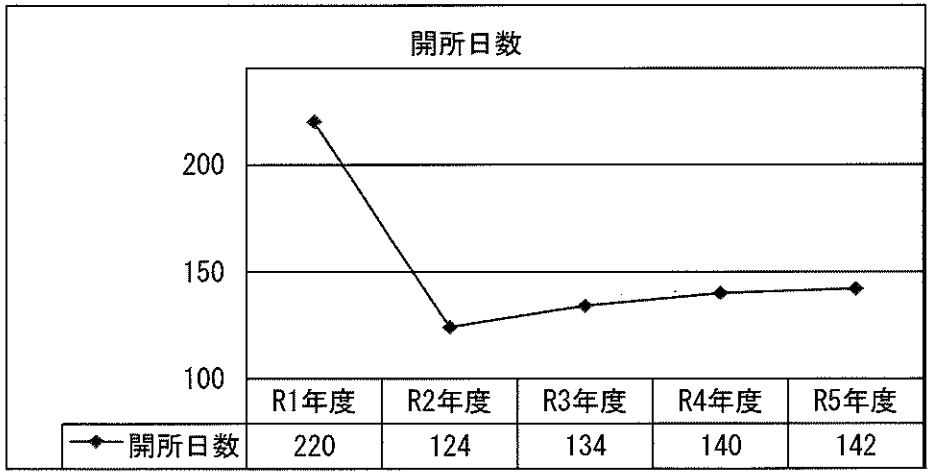
3.在宅福祉サービスの充実

①高齢者はつらつデイサービス事業 （はつらつデイサービス事業サービス区分）〈職員1名　再雇用職員１名　パート１名　〉

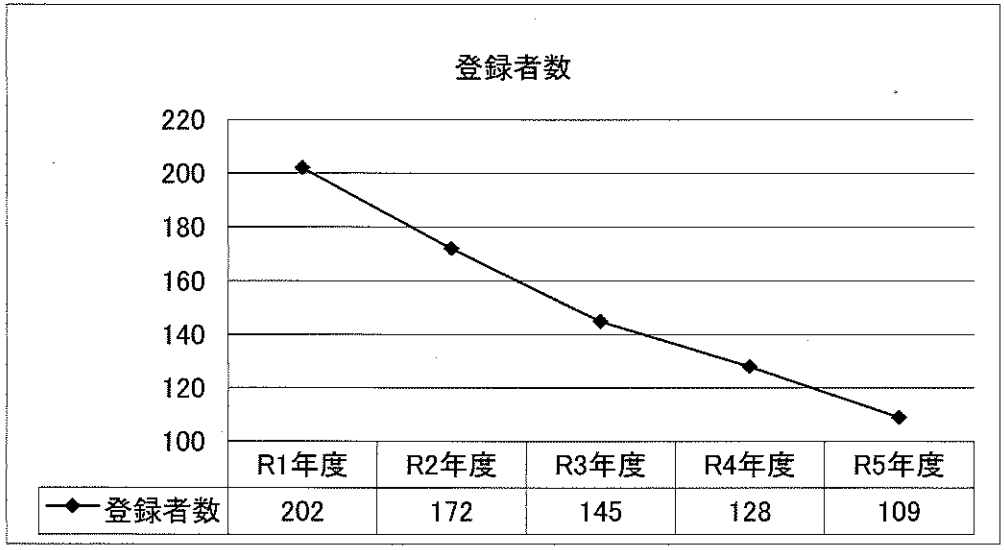
《 市受託金 3,555,700円　市補助金 4,061,480円　利用料 936,000円　その他の収入　77,691円　決算額　8,630,871円 》

介護保険非該当の利用者（65歳以上の高齢者）に対し、健康チェックや創作活動、レクリエーション、日常必需品の買い出しなどのサービスを提供し、高齢者が楽しく生きがいをもてるよう事業を実施しております。

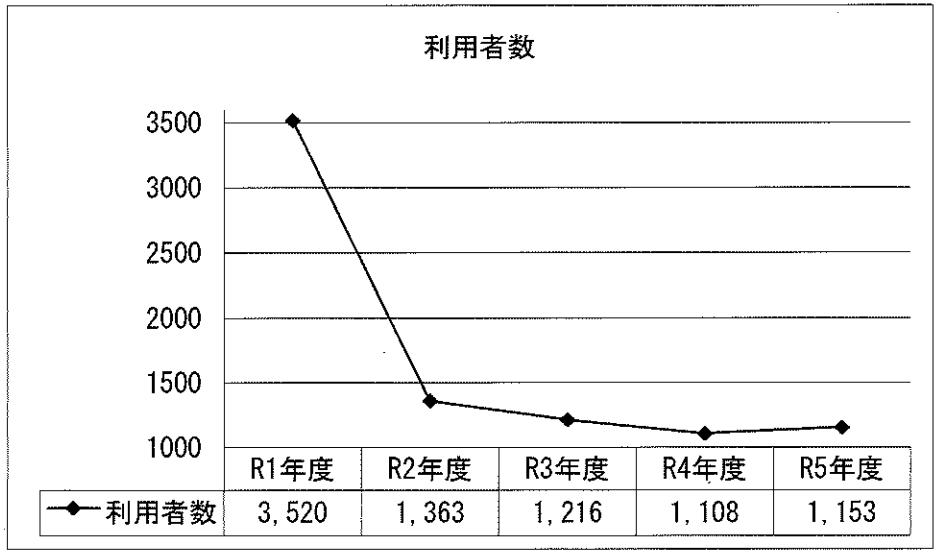
利用者の平均年齢は86歳をこえ、介護保険サービスへ移行する方や体調不良等で欠席する方も多くなり、関連事業から利用につながったケースもありますが、他の生活支援サービスの体制整備が進んできた事等もあり、登録者数は減少傾向が続いています。



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
開所日数	220	124	134	140	142



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
登録者数	202	172	145	128	109



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者数	3,520	1,363	1,216	1,108	1,153

3.在宅福祉サービスの充実

③まちなかサロン（社会福祉事業サービス区分）　　〈他業務と兼務　職員１名　パート職員６名　〉

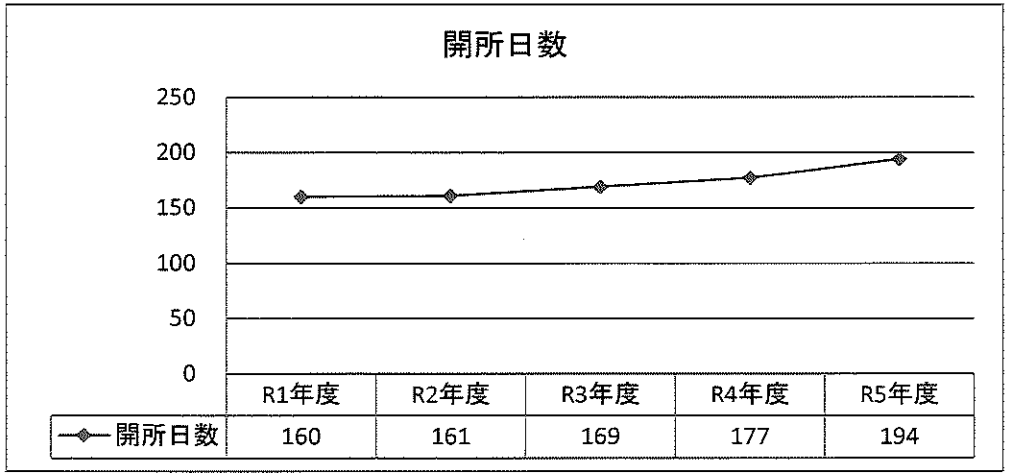
《　市受託金　3,115,508円　利用料収入　419,100 円　　決算額　3,534,608円　》

65歳以上の高齢者の方を対象に、自主的な介護予防、生きがいづくりの推進を目的に、いつでも・気軽に・誰もが・自由に出入りできる集いの場を提供しております。

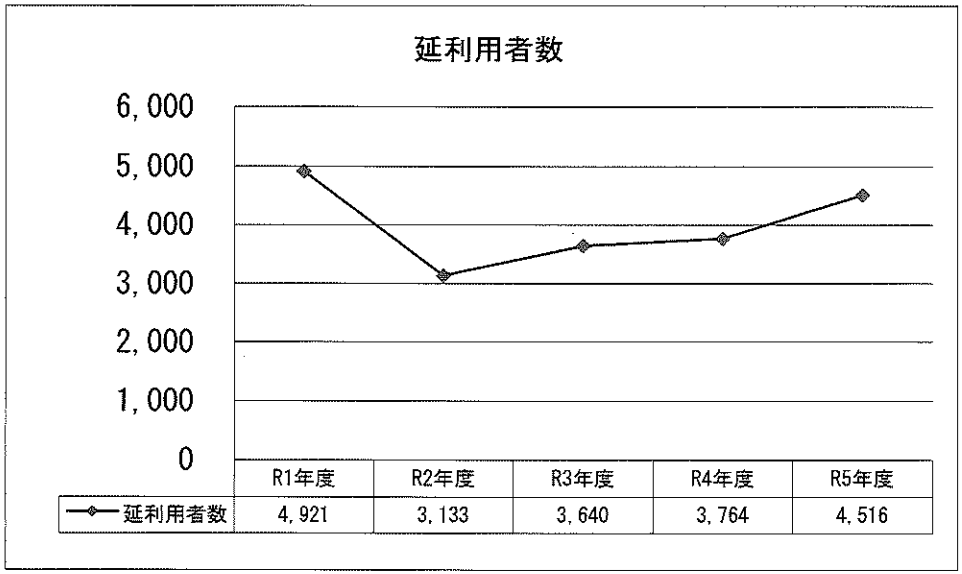
新型コロナウイルスが５月から、第５類に移行されたことにより、1日の利用平均が23.3人と前年度比で２人増加しました。

利用者の希望を取り入れ、俳句会や高知赤十字病院の健康ミニ講座なども開催しました。

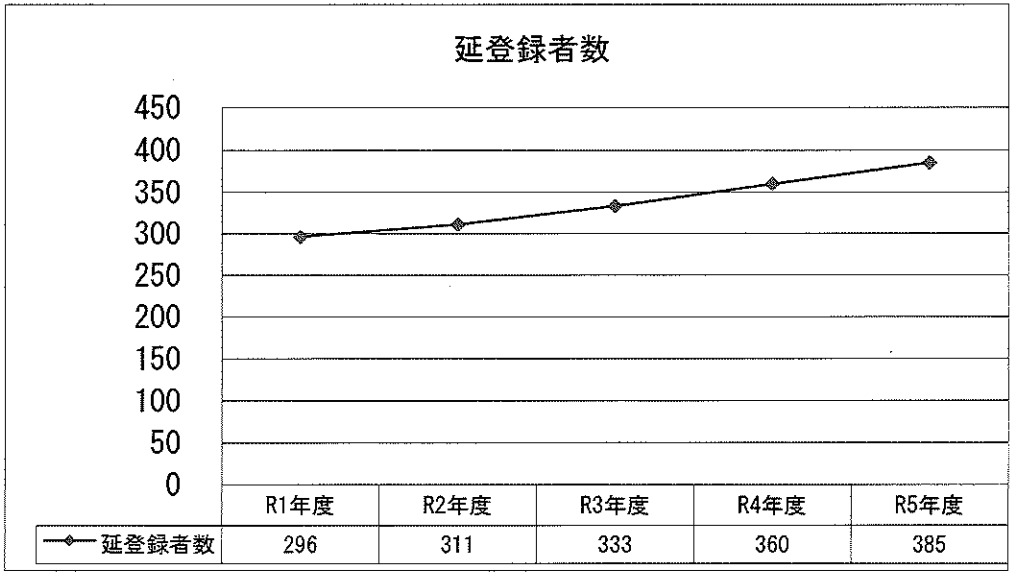
新規利用者は、今年度は広報等や口コミ効果もあり、増加しており次年度も引き続き、広報等でPR活動を行う予定です。



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
開所日数	160	161	169	177	194



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
延利用者数	4,921	3,133	3,640	3,764	4,516



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
延登録者数	296	311	333	360	385

3.在宅福祉サービスの充実

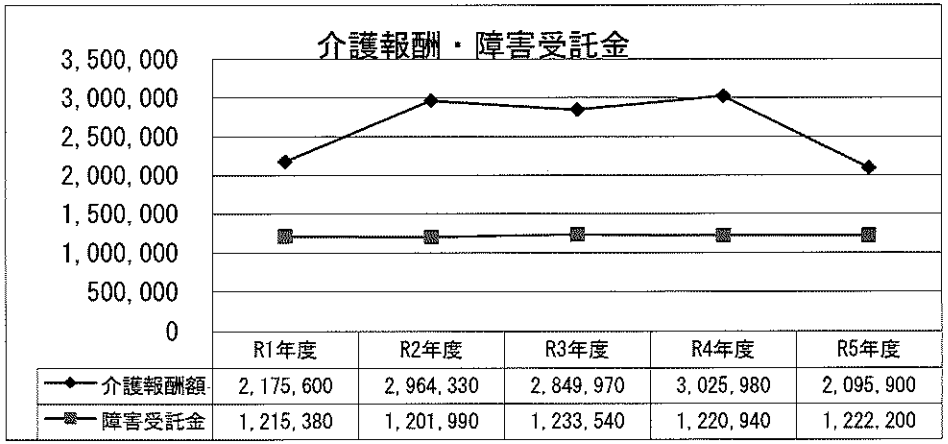
④訪問入浴事業（介護保険事業サービス区分）　　〈職員１名兼務　パート2名〉

《介護保険事業収入　2,095,900円　市補助金 1,599,000円　身体障害者事業受託金収入 1,222,200円　助成金　400,000円
その他の収入371,776円　決算額 5,688,876円》

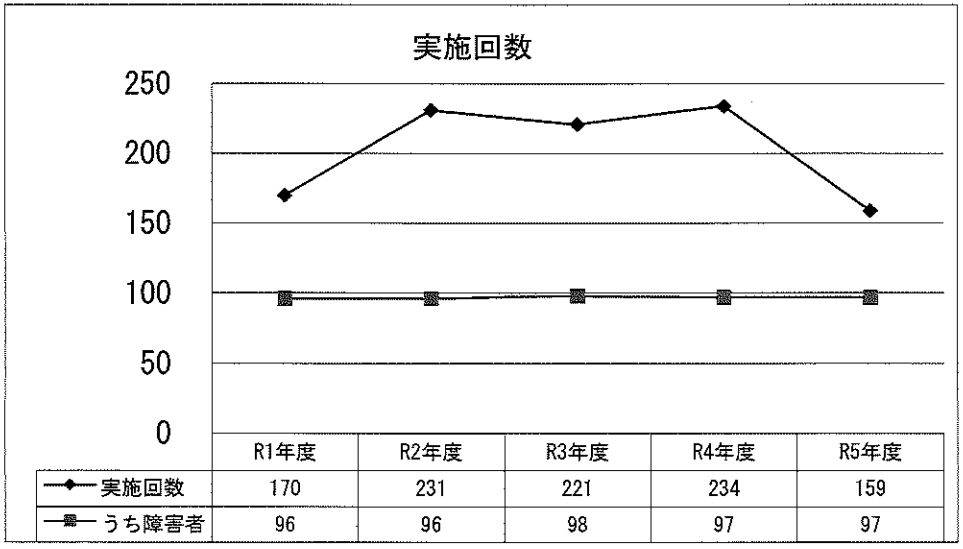
在宅で寝たきりの方等に対し、サービスを提供しており、利用者だけでなく、介護している家族へのメンタル面での配慮等、介護負担を軽減するようなコミュニケーション等を行い、安心・安全なサービスに心がけております。

介護保険では、施設入所や入院を含め、終末ケアの方も多く増減しており、実施回数は大きく減少しました。障害福祉の利用は定着し、安定してサービスを提供しております。

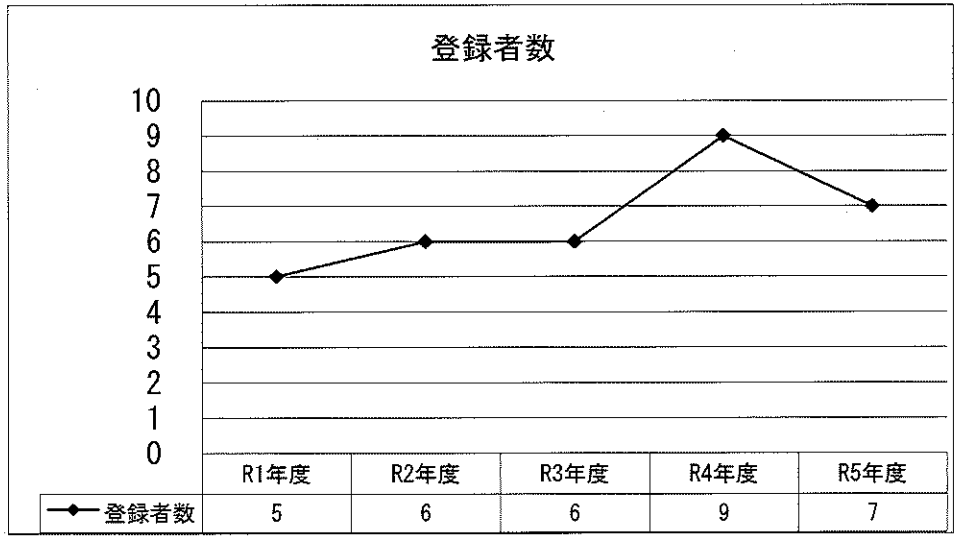
・介護保険サービス実利用者実数　２名
・障害福祉サービス　〃　１名



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
介護報酬額	2,175,600	2,964,330	2,849,970	3,025,980	2,095,900
障害受託金	1,215,380	1,201,990	1,233,540	1,220,940	1,222,200



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実施回数	170	231	221	234	159
うち障害者	96	96	98	97	97



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
登録者数	5	6	6	9	7

3.在宅福祉サービスの充実

⑤障害者支援センター事業（障害福祉事業サービス区分）　〈職員1名〉

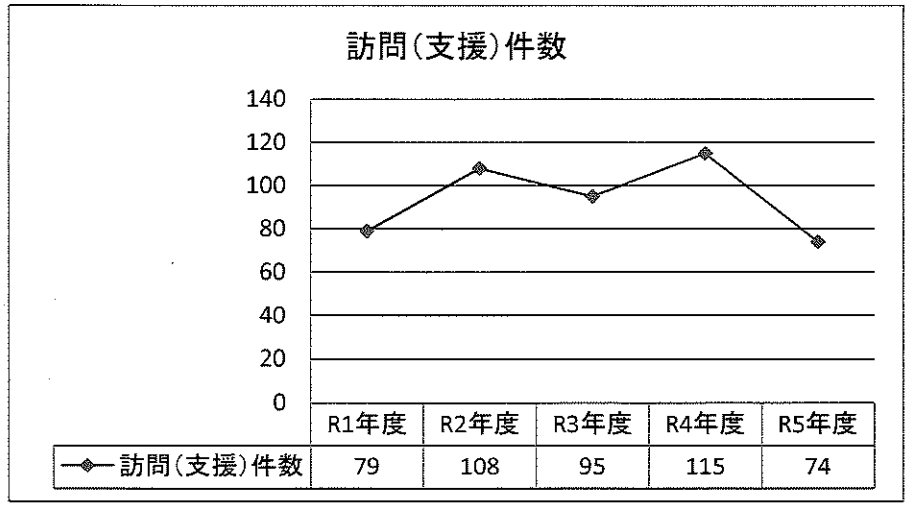
《 市受託金 4,215,221円　障害支援区分認定調査 621,500円　サービス計画報酬 2,443,590円　助成金　200,000円　決算額 7,480,311円 》

支援センター業務として、訪問等で身体、知的、精神の障害者、又はその家族からの生活相談に応じ、申請の代行や関係機関につなぐ等の連絡調整、支援困難ケースにおいては、関係機関と協力して同行等の直接的支援を行う他、障害支援区分認定調査を実施しております。

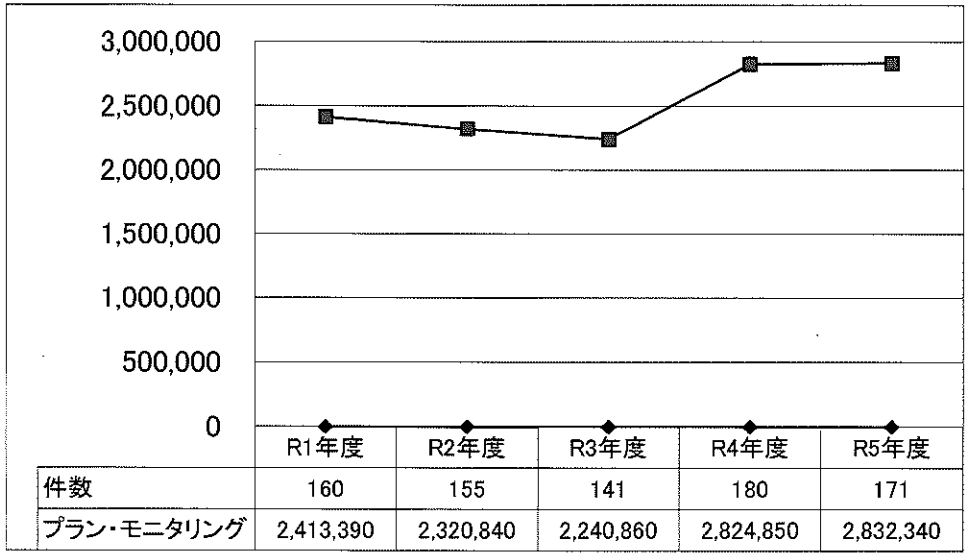
相談支援事業所として、障害福祉サービスを利用するために必要なサービス等利用計画の作成や調整、定期的なモニタリング等を行っております。利用者数について、質の良い支援を確保するため、一定の上限人数を定め、新規の相談は他事業所と調整を行っている状況です。

業務の実施について、コロナ感染症の影響で面会制限や電話での聞き取り等があり、未だ配慮が必要ですが、相談者や認定調査依頼は多くあり、例年通りの件数を行いました。

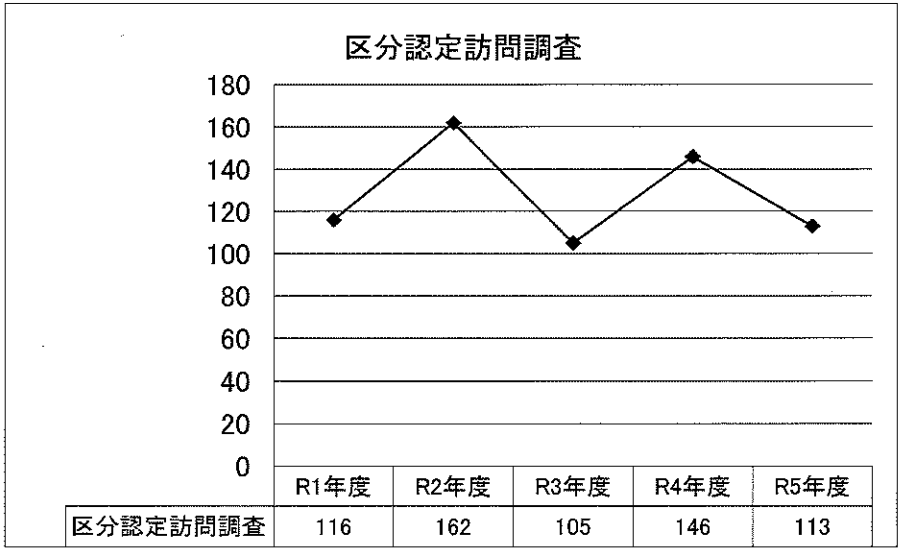
- Ｒ５年度相談支援事業所新規契約者　７名
- サービス利用終了・休止　８名
- Ｒ５年度３月末実質利用者　69名



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
訪問(支援)件数	79	108	95	115	74



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
件数	160	155	141	180	171
プラン・モニタリング	2,413,390	2,320,840	2,240,860	2,824,850	2,832,340



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
区分認定訪問調査	116	162	105	146	113

4.法人運営と地域福祉計画の推進

①四万十市社会福祉法人連絡会（四社連）の状況（地域福祉活動サービス区分）

H28年改正社会福祉法において、社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえ法人の本旨から導かれる本来の役割を明確にするため、「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が創設されました。四万十市においても社協が事務局となり、四万十市社会福祉法人連絡会（四社連）を設置し、定期的な連絡会により公益的な取組みを推進しています。

Ｒ５年度は連絡会を４回開催し、公益的な取り組みについての情報共有をはじめ、福祉職場の人材確保に関する新しい働き方を検討するため共同送迎サービスについて調査・検討を行いました。西土佐地域を除く高齢施設・事業所で送迎を実施している10の事業所にアンケート調査の協力依頼をして、９事業所から回答を得られることができました。調査結果を基にシュミレーションができた事業所は5事業所で、その内すぐにでも必要と感じている事業所は１ケ所という結果になりましたが、近い将来は必要であるとの認識が多いことが分かりましたので調査・検討は終了となりますが、引き続き関係機関と情報共有しながら検討していきたいと考えています。公益的な取り組みでは、12月におもいやり市（良心市）をオープンさせ野菜等の提供をいただきながら生活に困っている方に渡していますが、提供元と利用者の相乗効果は見られているものの、相談者への提供は一時的なもので根本的な生活改善には至っていません。しかしおもいやり市に期限まじかの食材を置くことにより、フードロスがなくなりました。

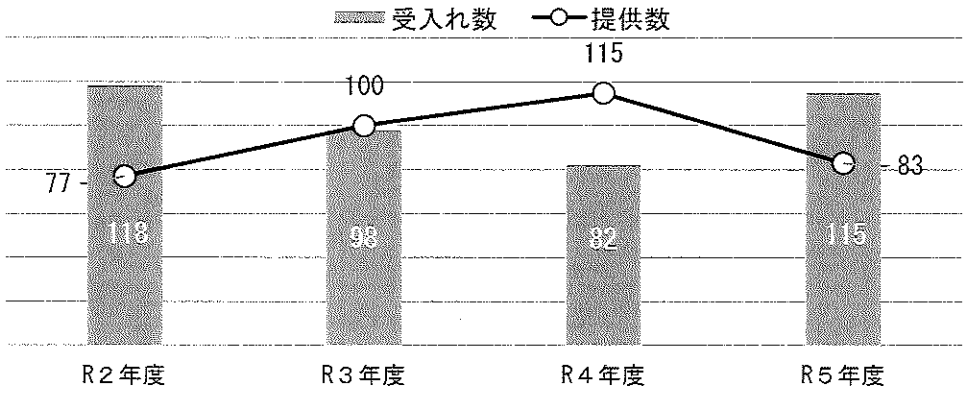
連絡会の開催状況

回数	年	月	日	参加者数
1	5	7	19	22名
2	5	10	30	20名
3	6	1	23	20名
4	6	3	1	20名
				延82名

おもいやり市（良心市）の状況

寄付品	野菜・果物・米
寄付重量	461kg
寄付金	42,896円
提供元	JAグリーン・民生委員・農家

フードバンクの受入れ及び提供数の推移



4.法人運営と地域福祉計画の推進

②第３期四万十市地域福祉計画の進捗状況等（地域福祉活動サービス区分）

Ｒ２年４月に策定した四万十市地域福祉計画を着実に進めていくため、市内を12圏域に分けた地域座談会を設置しています。Ｒ５年度は下の表のとおり座談会の取り組みを行っており、地域住民が主体となった様々な活動が生まれております。

地域課題を明らかにするためのアンケート調査を実施している地域もあり、今後地域の実態に即した多様な小地域福祉活動（支え合い活動やふれあいの機会づくり等）の創出を推進していきます。

圏域	座談会	関連会議	企画	備　考
中村	0 回	0 回	21 回	おはボラ21回
下田	1 回	1 回	1 回	5/13(土)下田地区わなげ交流大会
東山	1 回	1 回	1 回	8/18(金)東山地区夏休み子ども教室
具同	2 回	1 回	2 回	6/11(日)具同こどもひろば協力、2/27(火)元気100倍！地域交流大作戦
東中筋	1 回	0 回	0 回	
後川	1 回	10 回	1 回	11/5(日)後川地域交流祭
八束	1 回	0 回	0 回	
西富山・蕨岡	1 回	1 回	1 回	地域の困りごとアンケート調査実施
中筋	1 回	3 回	0 回	中筋地域交流館友の会取材(モルック・手打ちうどん・グラウンドゴルフ)
大川筋	1 回	2 回	1 回	地域の困りごとアンケート調査実施
東富山	1 回	0 回	0 回	
西土佐	3 回	0 回	3 回	8/21(月)・8/23(水)西土佐味噌づくり、2/4(日)西土佐駅伝大会にて味噌PR
計	14 回	19 回	31 回	

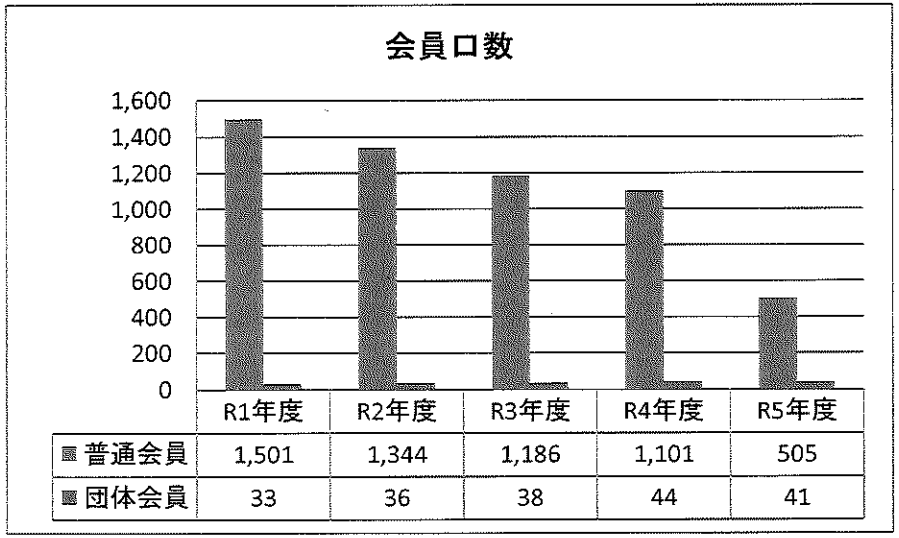
4.法人運営と地域福祉計画の推進

③社協会員加入状況（法人運営サービス区分）

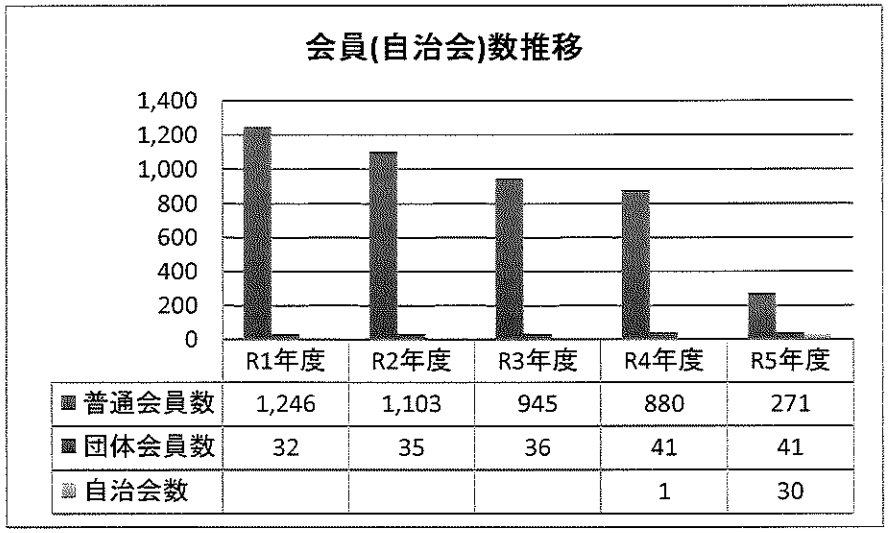
《 会費収入額 652,200円 》

関係機関をはじめ社協だよりによる呼びかけで会員の加入促進を行いましたが、年々普通会員数が減少している中、今年度は会員口数が半分以下となりました。

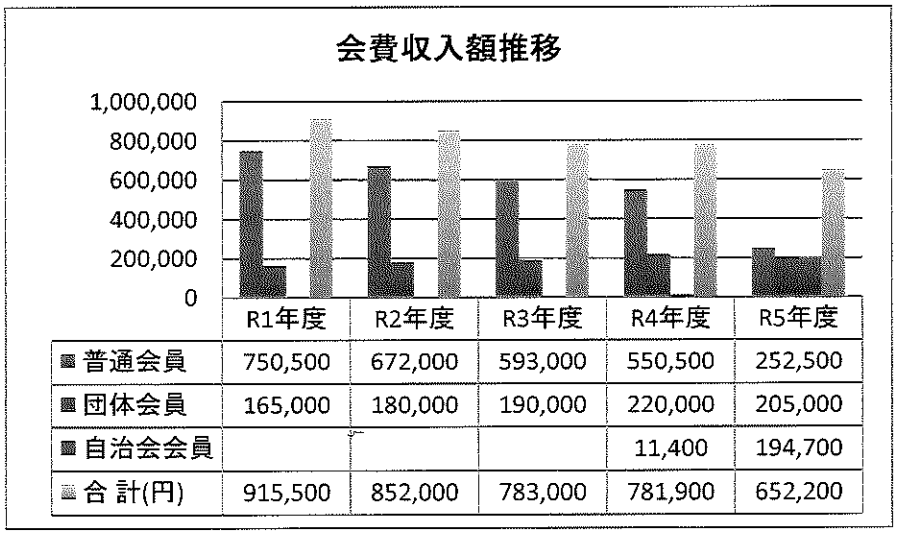
今年度は、過渡期で新たに自治会員を設けたことも要因の1つですが、普通会員数の維持に務め、自治会員が増えるよう引き続き区長へ理解と協力が得られるよう勧めていきます。



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
普通会員	1,501	1,344	1,186	1,101	505
団体会員	33	36	38	44	41



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
普通会員数	1,246	1,103	945	880	271
団体会員数	32	35	36	41	41
自治会数				1	30



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
普通会員	750,500	672,000	593,000	550,500	252,500
団体会員	165,000	180,000	190,000	220,000	205,000
自治会会員				11,400	194,700
合 計(円)	915,500	852,000	783,000	781,900	652,200

4.法人運営と地域福祉計画の推進

④社会福祉事業（法人運営サービス区分他）

事業経営方針・改正された定款に基づき、理事会、評議員会、各種運営委員会を開催しました。
以下が会議の状況となっております。

月	日	会議内容等	場所
5	23	【令和４年度社協監査】会長・監事２名・事務局２名　計５名	福祉センター
6	2	【第１回理事会】理事９名・監事２名・事務局５名　計16名 ①令和４年度事業報告及び法人会計決算について ②評議員会の招集について 報告事項 ①各種積立金等の状況について ②社会福祉充実計画について	〃
	19	【第１回評議員会】評議員７名・理事１名・監事１名・事務局２名　計11名 ①令和４年度事業報告及び法人会計決算について ②役員（理事・監事）の選任について 報告事項 ①社会福祉充実計画について	〃
	19	【第２回理事会】理事８名・監事２名・事務局２名　計12名 ①会長・副会長の選定について ②評議員選任・解任委員会委員の選任について 報告事項 ①今年度の理事会等の日程について	〃
8	23	【未来のあんしんサポート事業審査会】委員５名・事務局３名　計８名 ①事業経過報告について ②個別課題の対応について	〃
	23	【成年後見事業運営委員会】委員５名・事務局３名　計８名 ①令和４年度事業報告及び現在の状況等について ②個別課題への対応について	〃
9	15	【第３回理事会】理事９名・監事１名・事務局４名　計14名 ①法人会計第１次補正予算について ②評議員会への提案について 報告事項 ①職務の執行状況について ②生活福祉資金コロナ特例貸付状況等について ③社協会費の状況について ④地域福祉計画（座談会）について ⑤福祉事務所との協議について	福祉センター
	20	【見守りサービス事業運営委員会】委員３名・事務局４名　計７名 ①運営委員会委員長の互選について ①令和４年度・令和５年度上半期の実績について ③事業運営の内容について	多目的デイケアセンター「一条の里」
	29	【小口生活資金貸付事業運営委員会】委員４名・事務局２名　計６名 ①運営委員会委員長の互選について ②令和４年度の資金貸付状況等について ③滞納者の対応について ④令和６年度の貸付限度額の設定について	福祉センター
12	15	【第４回理事会】理事９名・監事２名・事務局４名　計15名 報告事項 ①職務の執行状況について ②職員の給与等に関する規程の一部改正について ③契約職員等就業規則の一部改正について ④居宅介護支援事業所について ⑤重層的支援体制整備事業について ⑥地域福祉計画の進捗状況について ⑦次年度の理事会等の日程について	〃
3	15	【第５回理事会】理事８名・監事１名・事務局４名　計13名 ①法人会計第２次補正予算について ②令和６年度事業計画及び法人会計予算について ③役員等賠償責任保険加入等について ⑥評議員会の招集について 報告事項 ①職務の執行状況について ②各種規程の制定及び一部改正について ③能登半島地震への災害ボランティアセンター支援について ④ゆずります事業について ⑤西土佐福祉会の訪問入浴事業について ⑥地域福祉計画（令和５年度地域座談会の実施状況） ⑦職員の人事異動について	〃
	25	【第２回評議員会】評議員７名・理事１名・事務局２名　計10名 ①法人会計第２次補正予算について ②令和６年度事業計画及び法人会計予算について 報告事項 ①能登半島地震への災害ボランティアセンター支援について ②ゆずります事業について ③地域福祉計画（令和５年度地域座談会の実施状況） ④令和６年度評議員会等の日程について ⑤職員の人事異動について	〃

4.法人運営と地域福祉計画の推進

⑤社会福祉事業（法人運営サービス区分他）

役職員等の資質向上のため、下記のとおりオンライン受講も取り入れ研修会や会議等へ参加しております。

月	日	研修等名称	市町村名　場所	参加者数
4	19	第１回チーフ会	四万十市　社会福祉センター	5
5	10	第２回チーフ会	〃	5
	10	第１回職員会	〃	14
	17	社協職員基礎研修	高知市　ふくし交流プラザ	3
	24	生活困窮者自立支援制度と特例貸付の償還支援の連携した取組についての説明会	四万十市　社会福祉センター他	4
	29	第１回業務連絡会	四万十市　社会福祉センター	6
6	5	高知型地域共生社会に向けた包括的な支援体制の整備に係るトップセミナー	〃	2
	12	第１回生活支援コーディネーター研修	四万十市　市役所	2
	13	介護保険・介護予防事業担当者研修会	四万十市　社会福祉センター	2
	14	安全運転管理者等講習	黒潮町　ふるさと総合センター	1
	17	第12回市町村社協職員ブロック対抗交流運動会	高知市　障害者スポーツセンター	5
	23~28	社会福祉主事資格認定通信課程春季コーススクーリング	神奈川県　ロフォス湘南	1
	26	第１回災害ボランティア活動支援マニュアル改訂検討会	高知市　ふくし交流プラザ	1
7	7	高知県都市社協会長連絡協議会定例会	香美市　プラザ八王子	3
	7	コミュニティーソーシャルワーカースタートアップ研修	高知市　ちより街テラス	1
	8	第１回ふくし就職フェア	高知市　かるぽーと	1
	12	第３回チーフ会	四万十市　社会福祉センター	5
	12	第２回職員会	〃	14
	19	第１回四万十市・黒潮町ブロック地域包括ケア推進協議体	〃	1
	20	コミュニティーソーシャルワーカースタートアップ研修	高知市　ソーレ	2
	27	福祉教育担当者連絡会	高知市　ふくし交流プラザ	1
	28	社会を明るくする運動講演会	四万十市　社会福祉センター	1
8	4	コミュニティーソーシャルワーカースタートアップ研修	高知市　保健福祉センター	1

月	日	研修等名称	市町村名　場所	参加者数
8	9	第４回チーフ会	四万十市　社会福祉センター	5
	17	成年後見制度基礎研修	四万十市　四万十市役所	1
	18	障害支援区分認定調査員現任研修	高知市　保健衛生総合庁舎	1
	25	重層的支援体制整備事業の実施に向けた研修及び意見交換会	四万十市　社会福祉センター	2
	31	社協職員基礎研修	高知市　ふくし交流プラザ	3
9	5~6	コミュニティーソーシャルワーカー実践研修	〃	1
	11	第２回業務連絡会	四万十市　社会福祉センター	6
	13	第３回職員会	〃	14
	25	幡多ブロック市町村社協会長等意見交換会	〃	3
10	3	災害ボランティアセンター運営基礎研修	高知市　ふくし交流プラザ	3
	11	第５回チーフ会	四万十市　社会福祉センター	5
	13	矯正施設から退所した高齢者や障害者の社会復帰に関する検討会	〃	1
	16	高知県市町村社協連絡会第１回地域福祉部会	高知市　ふくし交流プラザ	1
	19	第２回災害ボランティア活動支援マニュアル改訂検討会	〃	1
	23	高知県市町村社協連絡会第１回フレッシュ部会	四万十市　社会福祉センター	1
	30	コミュニティーソーシャルワーカー実践研修	高知市　ふくし交流プラザ	1
11	5	介護支援専門員更新研修（未経験）再研修	〃	2
	8	第６回チーフ会	四万十市　社会福祉センター	5
	8	第４回職員会	〃	14
	9	生活福祉資金貸付事業説明会	〃	3
	14	第74回高知県社会福祉大会	高知市　ふくし交流プラザ	2
	23	赤十字救急法基礎講習	四万十市　防災センター	11
	24	高知県障害者虐待防止・権利擁護研修	四万十市　一条の里	1

4.法人運営と地域福祉計画の推進

⑤社会福祉事業（法人運営サービス区分他）

役職員等の資質向上のため、下記のとおりオンライン受講も取り入れ研修会や会議等へ参加しております。

月	日	研修等名称	市町村名　場所	参加者数
11	25~26	赤十字救急法救急員養成講習会	四万十市　防災センター	11
	27	四国ブロックマッチング機能強化研修会	四万十市　社会福祉センター	2
12	8	高齢者疑似体験インストラクター養成講座	高知市　ふくし交流プラザ	2
	11	第３回業務連絡会	四万十市　社会福祉センター	6
	15	日常生活自立支援事業専門員研修会	高知市　ふくし交流プラザ	1
	19	相続と遺言に関する研修会	四万十市　市役所	2
	21	社会福祉法人・公益的取組推進フォーラム	四万十市　社会福祉センター	1
	21	意志決定支援研修	〃	1
1	10	災害ボランティアセンター中核スタッフ研修	高知市　ふくし交流プラザ	2
	16	コミュニティーソーシャルワーカー養成研修	〃	1
	16	災害ケースマネジメント研修	四万十市　社会福祉センター	1
	17	第７回チーフ会	〃	5
	17	第５回職員会	〃	14
	20	幡多地区社協連絡協議会研修会	宿毛市　社会福祉センター	12
	24	地域づくり加速化事業四国ブロック別研修	四万十市　社会福祉センター	1
	27	在宅医療・介護連携推進研修会	四万十市　防災センター	1
	31	市区町村社協介護サービス経営検討委員会	四万十市　社会福祉センター	1
	31	幡多地区難病ケア従事者研修会	四万十市　幡多総合庁舎	1
2	6	高知県農福連携推進フォーラム	四万十市　社会福祉センター	3
	6	市町村社協監事研修会	高知市　ふくし交流プラザ	2
	8	第２回生活支援コーディネーター研修	四万十市　幡多福祉保健所	2
	9	社協職員基礎研修	高知市　ふくし交流プラザ	3

月	日	研修等名称	市町村名　場所	参加者数
2	14	第８回チーフ会	四万十市　社会福祉センター	5
	19	高知県市町村社協連絡会第２回フレッシュ部会	高知市　ふくし交流プラザ	1
	19~20	コミュニティーソーシャルワーカー養成研修	〃	1
	20	地域の見守り・支え合いのしくみづくり研修会	四万十市　幡多福祉保健所	2
	20	高知刑務所見学会	高知市　高知刑務所	1
	22~27	社会福祉主事資格認定通信課程秋季コーススクーリング	神奈川県　ロフォス湘南	1
	22	そろそろ2040年の話をしようか？フォーラム	四万十市　社会福祉センター	1
	26	災害ボランティアセンター所長予定者会議	高知市　ふくし交流プラザ	1
	26	市町村社協事務局長等セミナー	〃	1
	27	第３回災害ボランティア活動支援マニュアル改訂検討会	〃	1
	28	中山間地域において災害時でも安心して住み続けられる地域づくり政策に関する調査研究事業	四万十市　社会福祉センター	1
	29	地域福祉推進セミナー	高知市　ちより街テラス	2
3	2	ふくし就職フェアspring	高知市　県民体育館	1
	8	市区町村社協介護サービス経営検討委員会第３回オンラインサロン	四万十市　社会福祉センター	1
	8	福祉教育・ボランティア学習セミナー	高知市　ふくし交流プラザ	2
	11	第５回高知県社会福祉法人経営青年会セミナー	四万十市　社会福祉センター	2
	11	第３回コミュニティーソーシャルワーカー養成研修企画会	高知市　ふくし交流プラザ	1
	12	第４回業務連絡会	四万十市　社会福祉センター	6
	13	第５回職員会	〃	13
	18	障害福祉サービス等事業者向け説明会	四万十市　一条の里	1
	22	職業紹介責任者講習	四万十市　社会福祉センター	1
	28	小規模法人ネットワーク化構築事業報告会	〃	1

延参加者数　290

その他、打ち合わせをはじめ担当者会や報告会、ケース検討会など、会議や各種団体の定例会などにも多く出席しています。

4.法人運営と地域福祉計画の推進

⑥指定管理者施設運営事業（指定管理者施設サービス区分）

四万十市多目的デイケアセンター　「一条の里」

《　市受託金収入（指定管理料）　　決算額 2,036,894円　》　　《正職員1名兼務》

多目的デイケアセンター「一条の里」で行っている事業については、次のとおりで各実績については前述のとおりです。

① 配食サービス事業
② まちなかサロン事業
③ はつらつデイサービス事業
④ 通所型サービスＣ事業
⑤ 障害者支援センター事業（相談支援事業）
⑥ 四万十子ども食堂（第２土曜日）年間 13回子ども778人・大人537人・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ189人 計1,504人
年間13回　テイクアウト方式、食材配付のみ3回

四万十市総合福祉センター

《　市受託金収入（指定管理料）決算額 929,361円　》　　《正職員1名兼務》

総合福祉センターの貸室の状況は、次のとおりです。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議研修室	14	17	14	12	14	12	13	12	14	14	11	14	161
福祉関係事務室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
応接室・相談室	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
休憩室	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	16	17	14	12	14	14	13	12	14	14	11	14	165

4.法人運営と地域福祉計画の推進

⑦公益事業　（福祉センター管理運営サービス区分）

社会福祉センターの貸室の状況は、次のとおりです。

四万十市社会福祉センター利用状況

月	大会議室				小会議室				老人憩いの室				研修室Ⅰ				研修室Ⅱ				小　計				利用合計	開館日	貸出可能数	利用割合					空き室割合	R4年度利用割合					空き室割合
	普通	減額	免除	営業	普通	減額	免除	営業	普通	減額	免除	営業	普通	減額	免除	営業	普通	減額	免除	営業	普通	減額	免除	営業				普通	減額	免除	営業	合計		普通	減額	免除	営業	合計	
4	2	1	12	2	27		8	5	43		1	1	5	1	9	3	15	1	11		92	3	41	11	147	30	450	20.4%	0.7%	9.1%	2.4%	32.7%	67.3%	18.0%	0.2%	7.1%	4.7%	30.0%	70.0%
5	7	1	5		20	3	8	2	47	1	2	1	12		7	2	15		8	2	101	5	30	7	143	31	465	21.7%	1.1%	6.5%	1.5%	30.8%	69.2%	18.1%	0.2%	6.7%	1.9%	26.9%	73.1%
6	7	2	10	7	22	5	7	7	48		1	1	16	1	8	6	17	1	13	8	110	9	39	29	187	30	450	24.4%	2.0%	8.7%	6.4%	41.6%	58.4%	20.9%	2.2%	7.1%	3.6%	33.8%	66.2%
7	8	2	9	4	26	5	8	4	44		1	1	15	1	12	4	16		13	14	109	8	43	27	187	31	465	23.4%	1.7%	9.2%	5.8%	40.2%	59.8%	18.7%	0.9%	8.2%	4.5%	32.3%	67.7%
8	1	3	22	2	22	4	18	3	33			1	10	1	20	3	9		17	4	75	8	77	13	173	31	465	16.1%	1.7%	16.6%	2.8%	37.2%	62.8%	16.6%		4.5%	3.7%	24.7%	75.3%
9	10	1	21	4	35	4	5	3	46			1	28		5		16		12	2	135	5	43	10	193	30	450	30.0%	1.1%	9.6%	2.2%	42.9%	57.1%	21.8%	0.4%	11.6%	1.8%	35.6%	64.4%
10	4	2	27	4	30	5	7	3	47				19	5	9	3	18		14	10	118	12	57	20	207	31	465	25.4%	2.6%	12.3%	4.3%	44.5%	55.5%	25.4%	1.1%	12.0%	5.2%	43.7%	56.3%
11	15	2	29	2	29	4	14	2	45			1	21	1	10	5	26		9	16	136	7	62	26	231	30	450	30.2%	1.6%	13.8%	5.8%	51.3%	48.7%	21.6%	0.9%	13.3%	4.7%	40.4%	59.6%
12	10		22	1	31	3	5	3	37	1	1		11		8	15	12		15	5	101	4	51	24	180	28	420	24.0%	1.0%	12.1%	5.7%	42.9%	57.1%	18.3%	1.0%	16.0%	2.4%	37.6%	62.4%
1	5		6	1	18	4	7	8	35		1	2	15		6	6	13		8	1	86	4	28	18	136	28	420	20.5%	1.0%	6.7%	4.3%	32.4%	67.6%	21.7%		10.0%	1.4%	33.1%	66.9%
2	1		9	1	20	5	9	2	39		4	1	16		11	2	12	1	10	4	88	6	43	10	147	28	420	21.0%	1.4%	10.2%	2.4%	35.0%	65.0%	20.5%	0.5%	13.6%	4.8%	39.3%	60.7%
3	4		4	4	27	2	5	2	44		1	1	18		4	3	13		10	3	106	2	24	13	145	31	465	22.8%	0.4%	5.2%	2.8%	31.2%	68.8%	24.1%	1.5%	9.7%	3.2%	38.5%	61.5%
合計	74	14	176	32	307	44	101	44	508	2	12	11	186	10	109	52	182	3	140	69	1,257	73	538	208	2,076	359	5,385	23.3%	1.4%	10.0%	3.9%	38.6%	61.4%	20.5%	0.7%	9.9%	3.5%	34.6%	65.4%

普通　　教育、福祉関係の会議、組合会議、サークル活動（体操、踊り）、法律・就職相談、宗教団体、政治団体、観光協会

減額　　市内の福祉団体、県社会福祉協議会、県聴覚障害者協会、介護福祉士会、社会福祉士会

免除　　市、市教育委員会、市教育研究所、ボランティア、福祉関係サークル、行政相談、社協事業・団体事務等

営業　　営業会議、健康セミナー、民間資格養成講座、学校説明会・入学試験

4.法人運営と地域福祉計画の推進

⑧公益事業（福祉センター管理運営サービス区分）

社会福祉センターの貸室の内、利用料免除での使用状況は次のとおりです。

四万十市社会福祉センター利用状況（免除）

月	大会議室			小会議室			老人憩いの室			研修室Ⅰ			研修室Ⅱ			小　計			合計
	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	
4	3		9	1	3	4			1	2	2	5	3	6	2	9	11	21	41
5	1		4	1	4	3	1		1		3	4	1	5	2	4	12	14	30
6	3		7	2	2	3			1		2	6	2	7	4	7	11	21	39
7	7		2	2	3	3	1			4	3	5	1	6	6	15	12	16	43
8	10	1	11	6	6	6				7	2	11	5	5	7	28	14	35	77
9	15		6	1		4					3	2	2	7	3	18	10	15	43
10	22		5	2	3	2				5	2	2	6	7	1	35	12	10	57
11	24	1	4	6	6	2					3	7	1	6	2	31	16	15	62
12	15		7	1	3	1	1			1	2	5	5	6	4	23	11	17	51
1	3		3	1	1	5	1			1	3	2		5	3	6	9	13	28
2			9	1	3	5		1	3		2	9		6	4	1	12	30	43
3			4	1		4		1			3	1		6	4	1	10	13	24
合計	103	2	71	25	34	42	4	2	6	20	30	59	26	72	42	178	140	220	538

市　　教育委員会・教育研究所・行政相談
団体　　幡多郡民協・朗読の会虹・中村手話サークルわかあゆ・認知症家族の会たんぽぽの会・県社協・健康福祉委員会
社協　　社協事業・民協・日赤・共募・人材バンク・老人クラブ・身障連・四社連・ボランティア勉強会・法律相談・座談会

令和５年度　事業報告の付属明細書

令和６年３月 31 日
四万十市社会福祉協議会

１.他の法人等の重要な兼職の状況

区　分	氏　　名	兼職先	兼職の内容	関　係
理　事	大林　郁男	特記すべき兼職はない		
〃	中平　晋祐	特記すべき兼職はない		
〃	嶋　　博茂	特記すべき兼職はない		
〃	宮村　和輝	特記すべき兼職はない		
〃	川村　　博	特記すべき兼職はない		
〃	上岡　　敬	特記すべき兼職はない		
〃	西　　美和	特記すべき兼職はない		
〃	佐伯　達雄	特記すべき兼職はない		
〃	岡村　武彦	特記すべき兼職はない		
監　事	村上　真美	特記すべき兼職はない		
〃	北澤　美智子	特記すべき兼職はない		

２.その他

・事業報告を補完すべき事項はありません

・この明細書は、四万十市社会福祉協議会定款第 39 条第１項第２号により添付しております